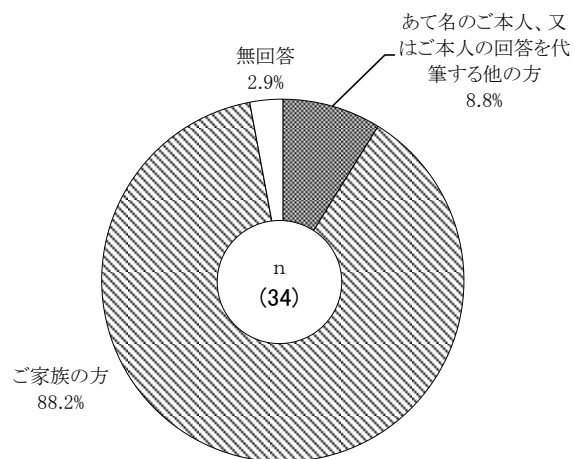


V 発達障害のある 18 歳未満の方と

その保護者の方を対象とした調査

問 この調査票でご回答いただくのはどなたですか。(○は1つ)

「ご家族の方」が88.2%となっています。

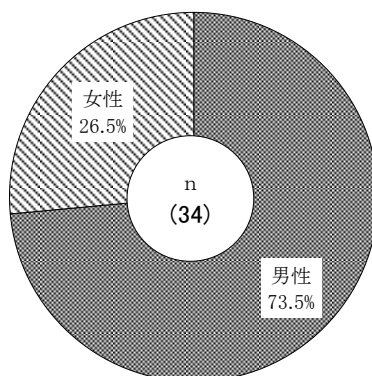


1. 本人について

(1) 性別

問1 あなたの性別をおたずねします。(○は1つ)

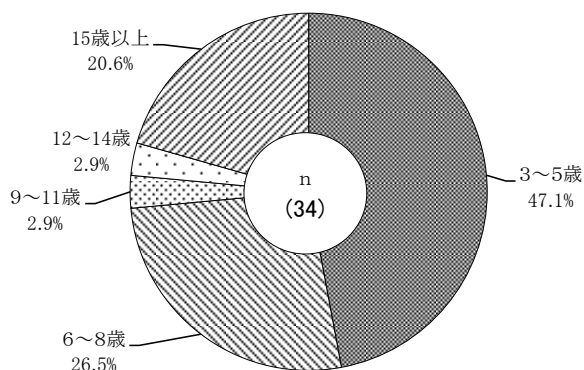
「男性」が73.5%、「女性」が26.5%となっています。



(2) 年齢

問2 あなたの年齢について、平成29年1月1日現在の年齢をご記入ください。

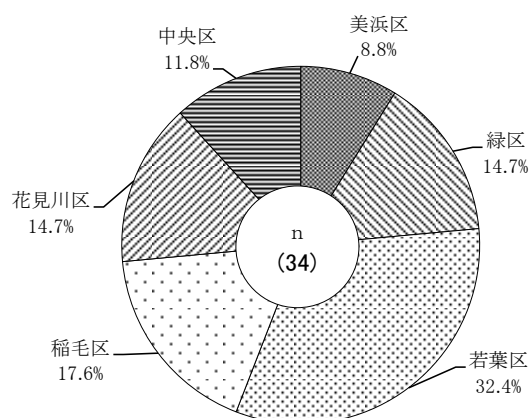
「3～5歳」が47.1%で最も多く、次いで「6～8歳」が26.5%となっています。



(3) 居住区

問3 あなたのお住まいの区をおたずねします。(〇は1つ)

「若葉区」が32.4%で最も多く、以下「稲毛区」が17.6%、「花見川区」、「緑区」が14.7%となっています。

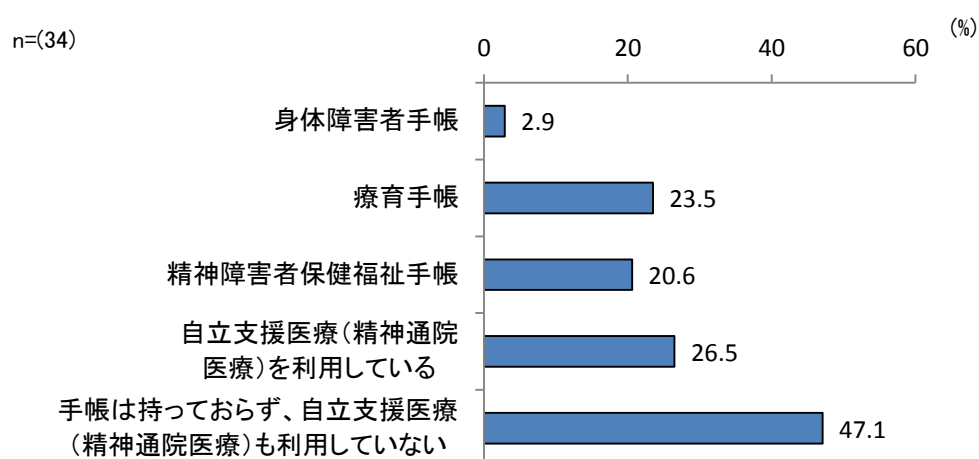


(4) 障害の種別

問4 あなたがお持ちの手帳の種類と等級、自立支援医療（精神通院医療）の利用をおたずねします。（○はいくつでも。手帳をお持ちの方は、カッコ内の等級（程度）にも○印をつけてください。）

「自立支援医療(精神通院医療)を利用している」が26.5%で最も多く、以下、「療育手帳」が23.5%、「精神障害者保健福祉手帳」が20.6%となっています。

●全体



●年齢別

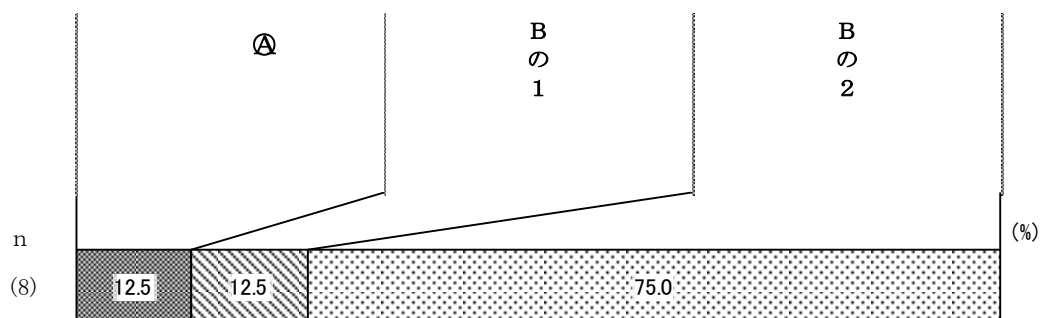
	調査数	身体障害者手帳	療育手帳	精神障害者保健福祉手帳	自立支援医療(精神通院医療)を利用している	手帳は持っておらず、自立支援医療(精神通院医療)も利用していない
全 体	34 100.0	1 2.9	8 23.5	7 20.6	9 26.5	16 47.1
0～2歳	— —	— —	— —	— —	— —	— —
3～5歳	16 100.0	— —	4 25.0	1 6.3	1 6.3	11 68.8
6～8歳	9 100.0	— —	1 11.1	1 11.1	2 22.2	5 55.6
9～11歳	1 100.0	1 100.0	— —	— —	1 100.0	— —
12～14歳	1 100.0	— —	— —	1 100.0	— —	— —
15歳以上	7 100.0	— —	3 42.9	4 57.1	5 71.4	— —

① 身体障害者手帳の等級

身体障害者手帳の等級では、「2級」が1名となっています。

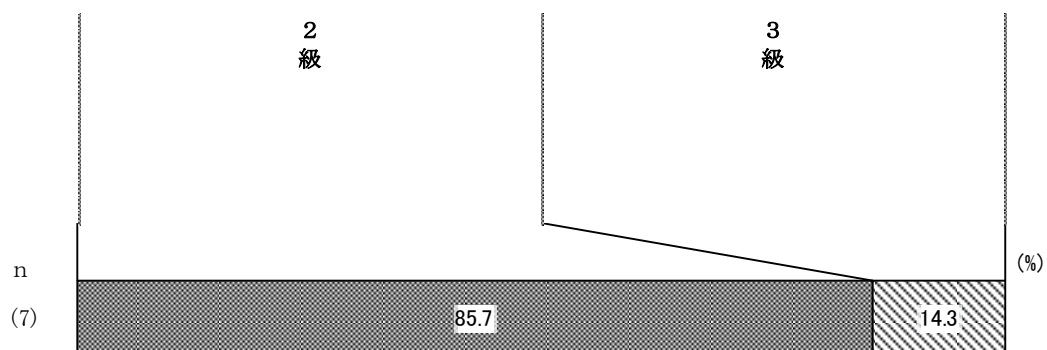
② 療育手帳の程度

療育手帳の程度をお持ちの方は8名で、そのうち「Bの2」が6名となっています。



③ 精神障害者保健福祉手帳の等級

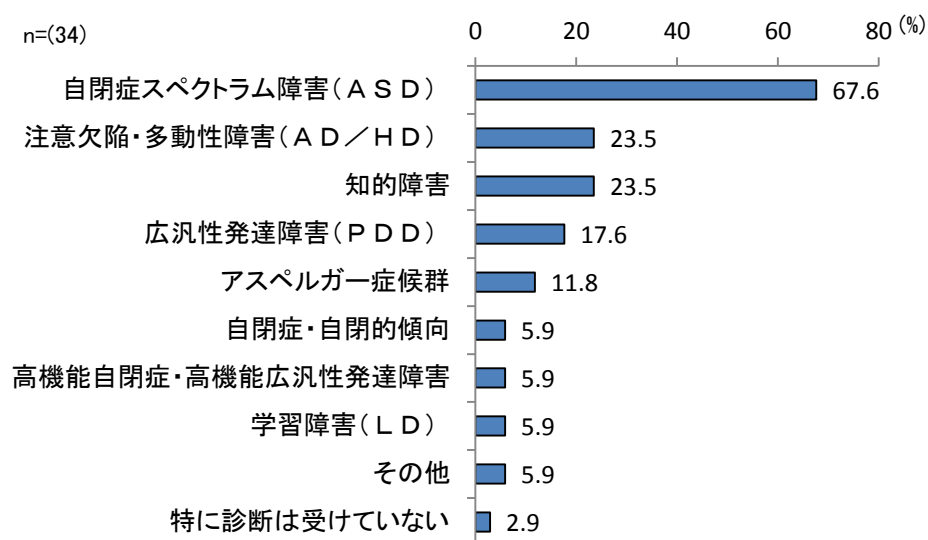
精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方は7名で、そのうち6名が「2級」となっています。



(5) 発達障害の種類

問5 あなたが受けている最新の診断名をお聞きます。(〇はいくつでも)

「自閉症スペクトラム障害 (ASD)」が67.6%で最も多くなっています。



(6) 難病の種類

問6 難病に罹患している方におたずねします。あなたの難病の種類は次のどちらですか。(〇は1つ)

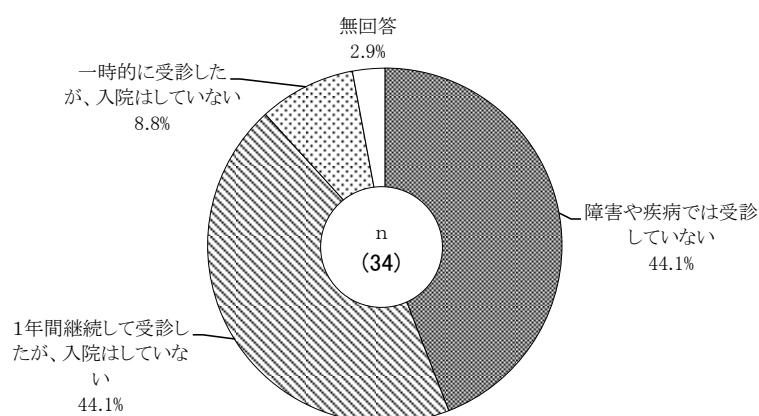
回答者は0名となっています。

2. 医療機関への受診状況について

(1) 医療機関の受診状況

問7 あなたは最近1年間に、障害や疾病が原因で医療機関を受診しましたか。(○は1つ)

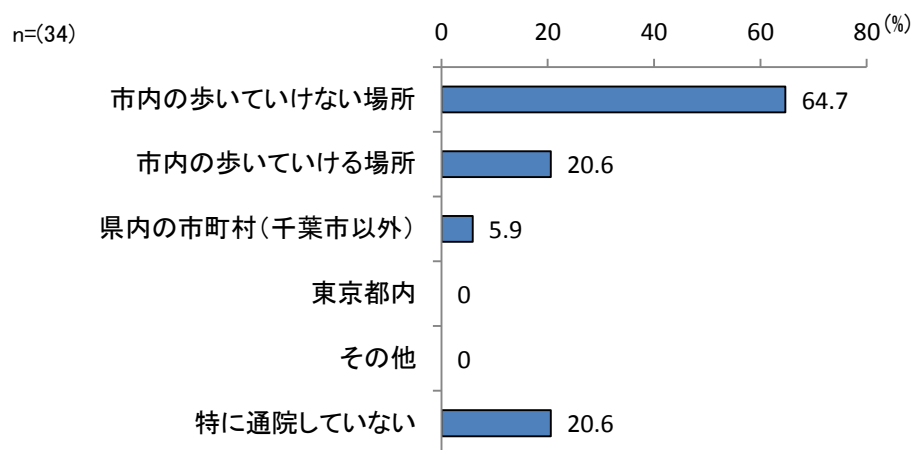
「1年間継続して受診したが、入院はしていない」と「障害や疾病では受診していない」が44.1%となっています。



(2) 通院先の所在地

問8 あなたの「医療」についておたずねします。あなたはどこの病院に通院していますか。(○はいくつでも)

「市内の歩いていけない場所」が64.7%で最も多くなっています。

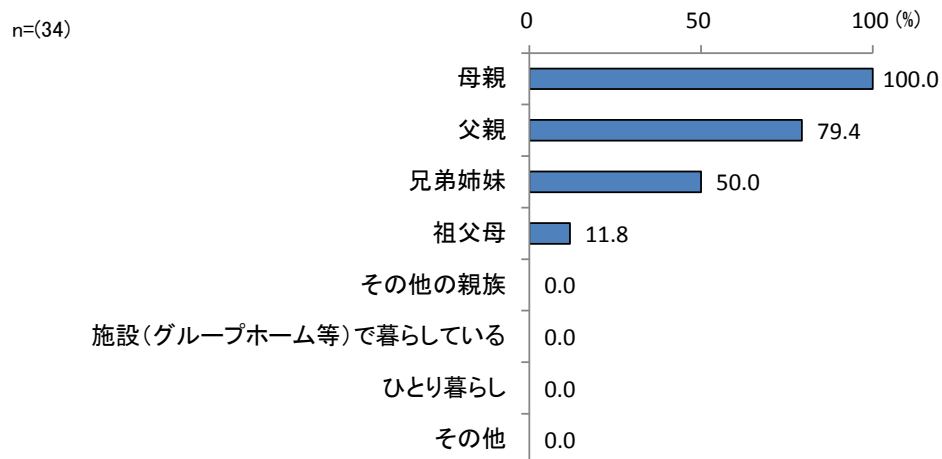


3. 家族や介助者について

(1) 同居者

問9 あなたは、どなたと一緒に暮らしていますか。(〇はいくつでも)

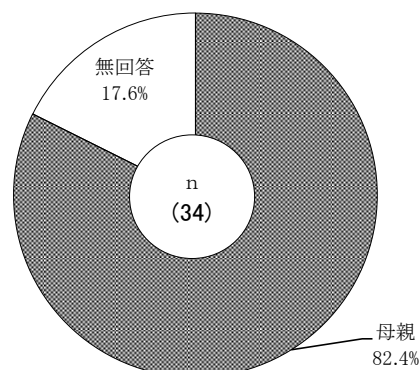
「母親」が100.0%で最も多く、以下「父親」が79.4%、「兄弟姉妹」が50.0%となっています。



(2) 主な介助者

問10 あなたへの介助について、主な介助者はどなたですか。(〇は1つ)

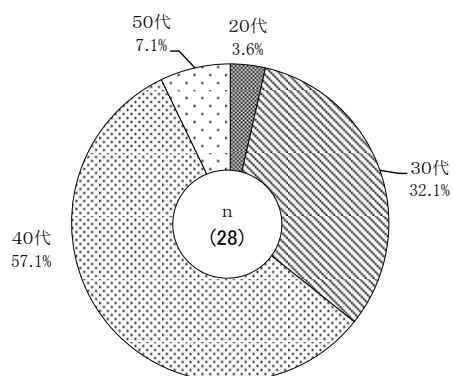
「母親」が82.4%となっています。



(3) 主な介助者の年齢

問 11 【問 10で主な介助者が家族・親族（1～5 番）に○をつけた方におたずねします。】
主な介助者の年齢をお答えください。（○は1つ）

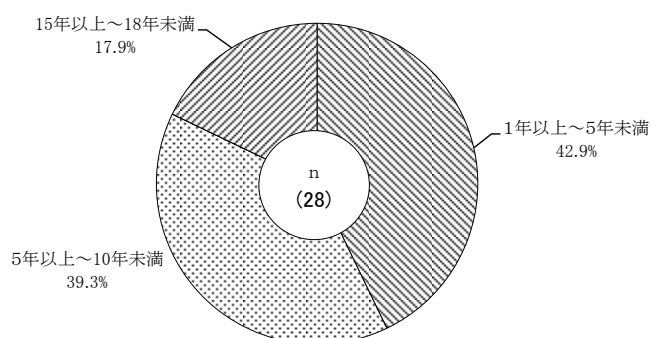
「40代」が57.1%で最も多く、次いで「30代」が32.1%となっています。



(4) 主な介助者の介助継続年数

問 12 【問 10で主な介助者が家族・親族（1～5 番）に○をつけた方におたずねします。】
主な介助者の介助継続年数をお答えください。（○は1つ）

「1年以上～5年未満」が42.9%、「5年以上～10年未満」が39.3%と、いずれも4割前後となっています。



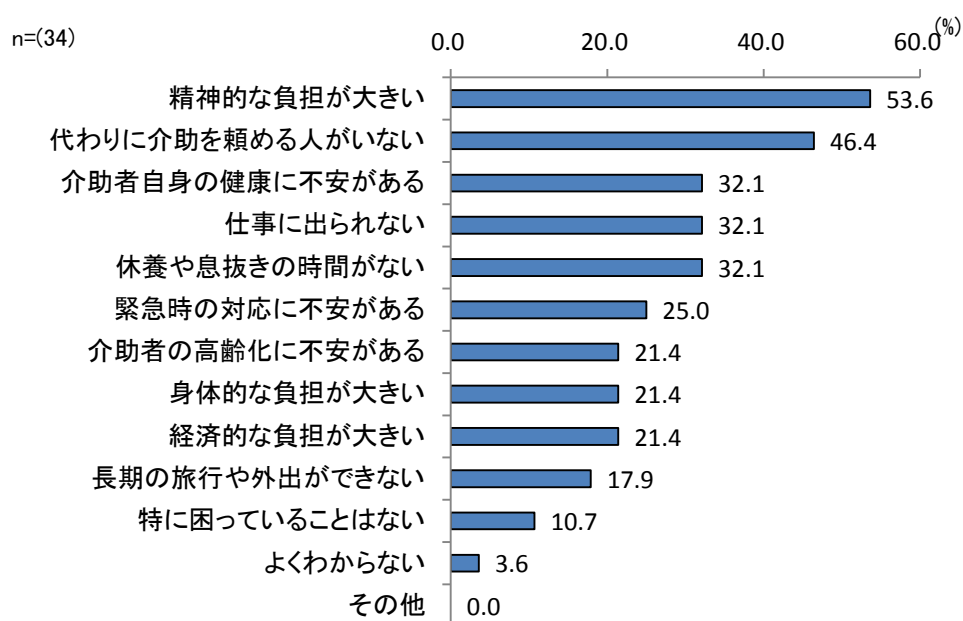
(5) 主な介助者が困っていること

問 13 【問 10 で主な介助者が家族・親族（１～５ 番）に○をつけた方におたずねします。】
主な介助者が困っていることは何ですか。（○はいくつでも）

「精神的な負担が大きい」が 53.6% で最も多く、次いで「代わりに介助を頼める人がいない」が 46.4% となっています。

なお、前回調査と比較すると、「代わりに介助を頼める人がいない」が、今回の調査では増加しています。

●全体



●経年比較

	調査数	介助者自身の健康に不安がある	介助者の高齢化に不安がある	代わりに介助を頼める人がいない	緊急時の対応に不安がある	身体的な負担が大きい	精神的な負担が大きい	経済的な負担が大きい
今回 (平成28年度)	28	9	6	13	7	6	15	6
	100.0	32.1	21.4	46.4	25.0	21.4	53.6	21.4
増減		▲6.8	▲4.7	7.5	▲19.4	▲0.8	▲2.0	▲11.9
前回 (平成25年度)	18	7	3	7	8	4	10	6
	100.0	38.9	16.7	38.9	44.4	22.2	55.6	33.3

	調査数	仕事に出られない	長期の旅行や外出ができない	休養や息抜きの時間がない	特に困っていることはない	よくわからない	その他
今回 (平成28年度)	28	9	5	9	3	1	0
	100.0	32.1	17.9	32.1	10.7	3.6	-
増減		4.3	1.2	▲12.3	▲0.4	▲2.0	▲5.6
前回 (平成25年度)	18	5	3	8	2	1	1
	100.0	27.8	16.7	44.4	11.1	5.6	5.6

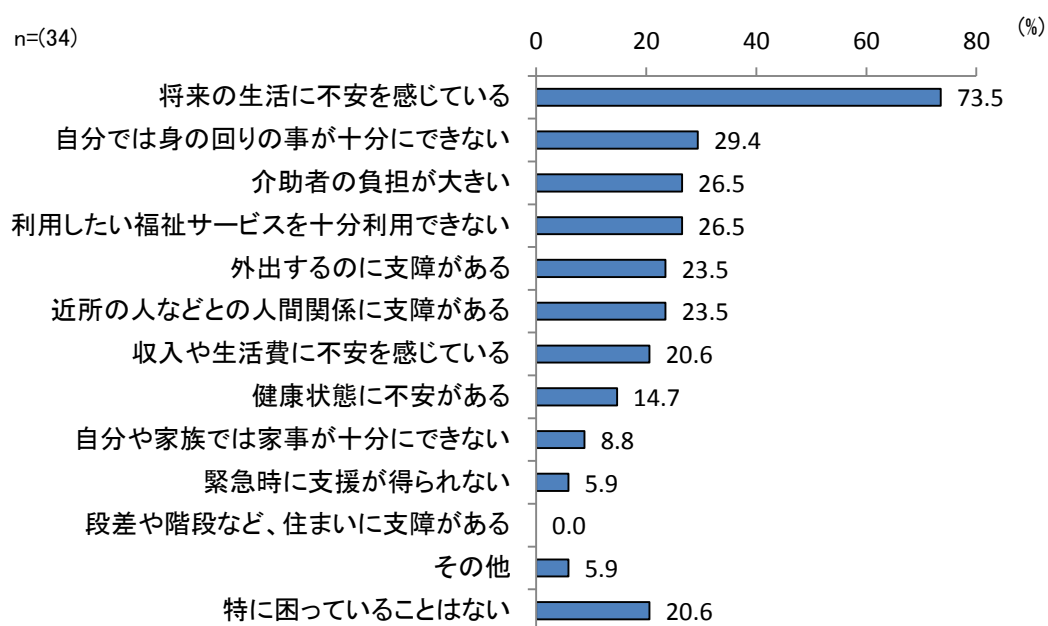
4. 相談や情報入手について

(1) 日常生活で困っていること

問 14 あなた（や保護者・ご家族の方）は、日常生活で困っていることはありますか。
（〇はいくつでも）

「将来の生活に不安を感じている」が 73.5%で最も多く、以下「自分では身の回りの事が十分にできない」が 29.4%、「介助者の負担が大きい」、「利用したい福祉サービスを十分利用できない」が 26.5%となっています。

なお、前回調査と比較すると、「将来の生活に不安を感じている」が増加しています。



●経年比較

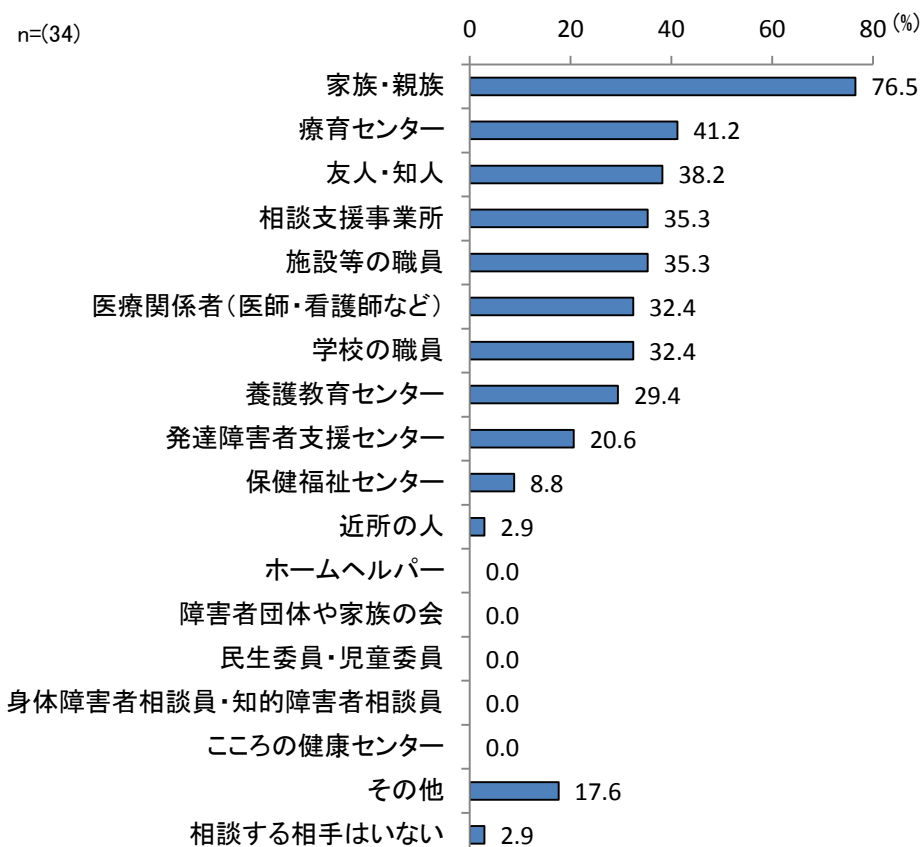
	調査数	自分では身の回りの事が十分にできない	自分や家族では家事が十分にできない	健康状態に不安がある	介助者の負担が大きい	段差や階段など、住まいに支障がある	外出するのに支障がある
今回 (平成28年度)	34 100.0	10 29.4	3 8.8	5 14.7	9 26.5	0 0.0	8 23.5
増減		1.4	▲3.2	▲1.3	2.6	10.0	▲8.5
前回 (平成25年度)	25 100.0	7 28.0	3 12.0	4 16.0	6 24.0	0 0.0	8 32.0

	調査数	利用したい福祉サービスを十分利用できない	収入や生活費に不安を感じている	緊急時に支援が得られない	近所の人などとの人間関係に支障がある	将来の生活に不安を感じている	特に困っていることはない	その他
今回 (平成28年度)	34 100.0	9 26.5	7 20.6	2 5.9	8 23.5	25 73.5	7 20.6	2 5.9
増減		▲1.5	▲7.4	▲10.1	3.5	13.5	8.6	1.9
前回 (平成25年度)	25 100.0	7 28.0	7 28.0	4 16.0	5 20.0	15 60.0	3 12.0	1 4.0

(2) 困った時の相談先

問 15 あなた（や保護者）が困った時に相談する相手は誰（どこ）ですか。
（〇はいくつでも）

「家族・親族」が76.5%で最も多く、次いで「療育センター」が41.2%となっています。
なお、前回調査と比較すると、今回の調査では「家族・親族」が増加しています。



●経年比較

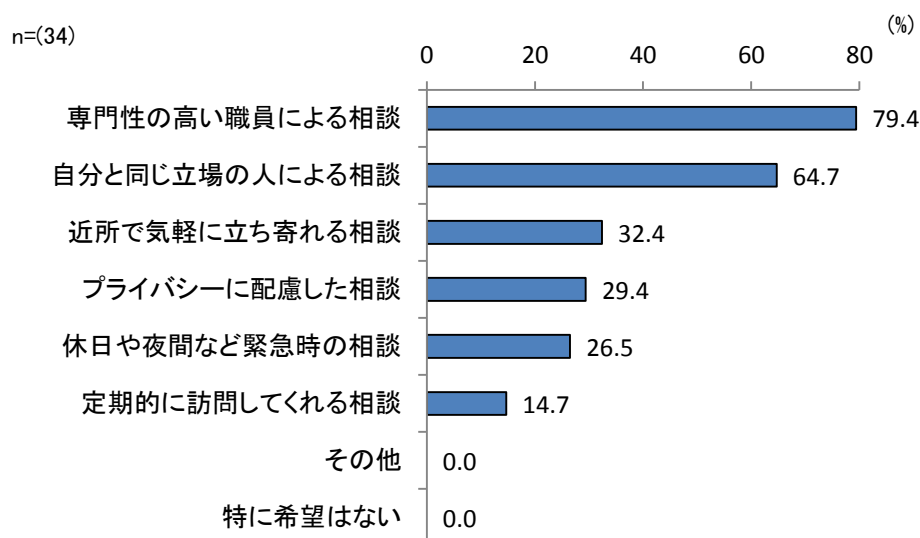
	調査数	家族・親族	友人・知人	近所の人	相談支援事業所	ホームヘルパー	施設等の職員	医療関係者(医師・看護師など)	障害者団体や家族の会	学校の職員
今回 (平成28年度)	34	26	13	1	12	0	12	11	0	11
	100.0	76.5	38.2	2.9	35.3	0.0	35.3	32.4	0.0	32.4
増減		12.5	6.2	2.9	27.3	0.0	7.3	4.4	▲12.0	12.4
前回 (平成25年度)	25	18	8	0	2	0	7	7	3	5
	100.0	64.0	32.0	0.0	8.0	0.0	28.0	28.0	12.0	20.0

	調査数	養護教育センター	民生委員・児童委員	身体障害者相談員・知的障害者相談員	保健福祉センター	療育センター	発達障害者支援センター	こころの健康センター	相談する相手はいない	その他
今回 (平成28年度)	34	10	0	0	3	14	7	0	1	6
	100.0	29.4	0.0	0.0	8.8	41.2	20.6	0.0	2.9	17.6
増減			0.0	0.0	4.8		▲3.4	10.0	▲9.1	1.6
前回 (平成25年度)	25		0	0	1		6	0	3	4
	100.0		0.0	0.0	4.0		24.0	0.0	12.0	16.0

(3) 希望する相談制度

問16 あなた（や保護者・ご家族の方）は、どのような相談制度があれば、より便利だと思いますか。（〇はいくつでも）

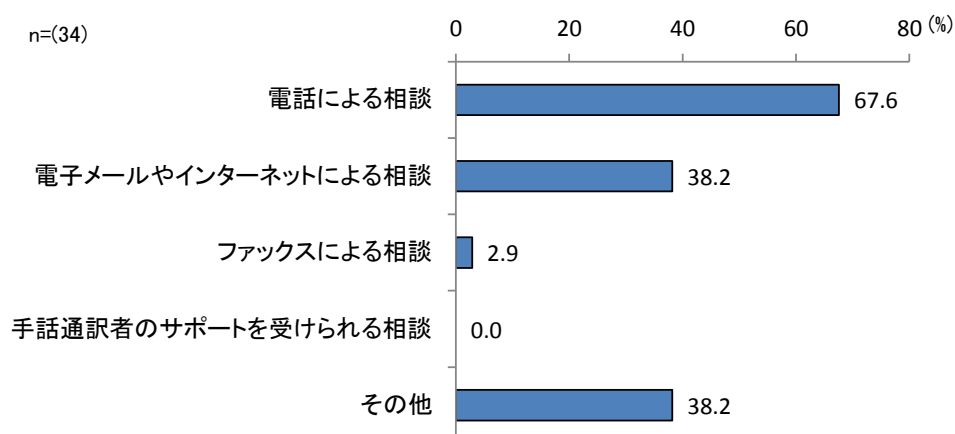
「専門性の高い職員による相談」が79.4%で最も多く、次いで「自分と同じ立場の人による相談」が64.7%となっています。



(4) 相談しやすい方法

問17 あなた（やご家族の方）は、どのような相談方法が相談しやすいですか。（〇はいくつでも）

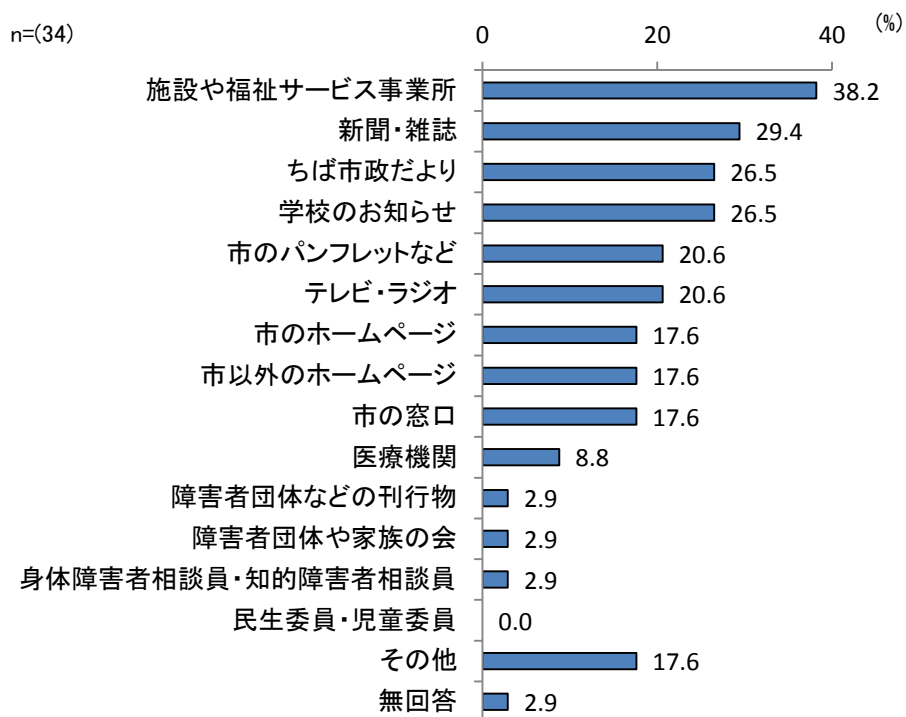
「電話による相談」が67.6%で最も多く、次いで「電子メールやインターネットによる相談」が38.2%となっています。



（５）福祉情報の入手先

問１８ あなた（や保護者・ご家族の方）は、福祉に関する情報を、どこから知ることが多いですか。（〇はいくつでも）

「施設や福祉サービス事業所」が38.2%で最も多く、次いで「新聞・雑誌」が29.4%となっています。

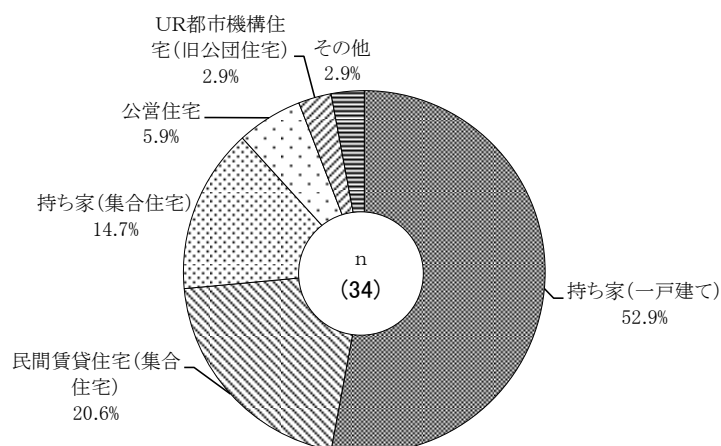


5. 暮らしについて

(1) 住まいの種類

問19 あなたのお住まいの種類をお聞きます。(〇は1つ)

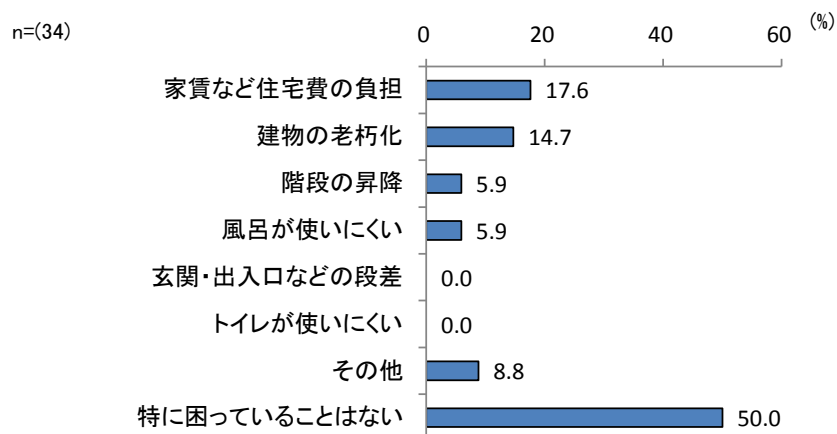
「持ち家(一戸建て)」が 52.9%で最も多く、次いで「民間賃貸住宅(集合住宅)」が 20.6%となっています。



(2) 住まいについて困っていること

問20 あなた(や保護者の方)には、住まいについて困っていることがありますか。(〇はいくつでも)

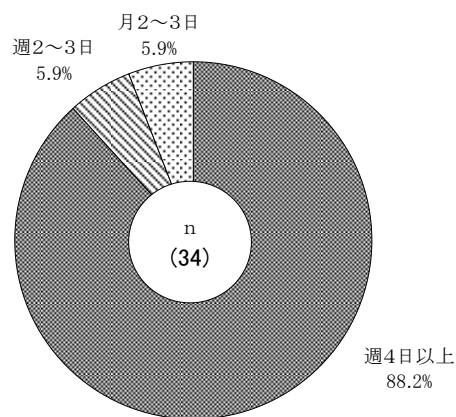
住まいについて困っていることについては「家賃など住宅費の負担」が 17.6%で最も多く、次いで「建物の老朽化」が 14.7%となっています。



(3) 外出の頻度

問 21 あなたは、どのくらいの頻度で外出していますか。(○は1つ)

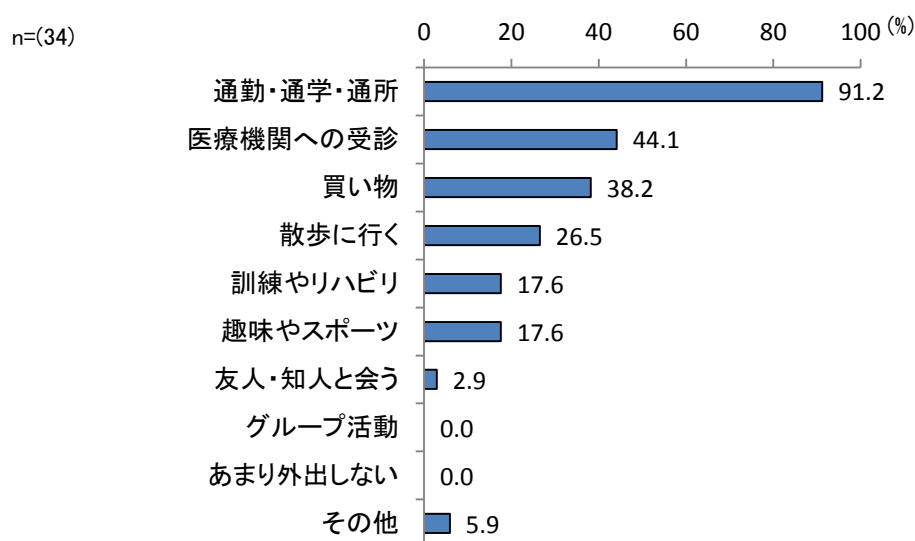
「週4日以上」が88.2%で最も多くなっています。



(4) 外出の目的

問 22 あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。(○はいくつでも)

「通勤・通学・通所」が91.2%で最も多く、以下「医療機関への受診」が44.1%、「買い物」が38.2%となっています。

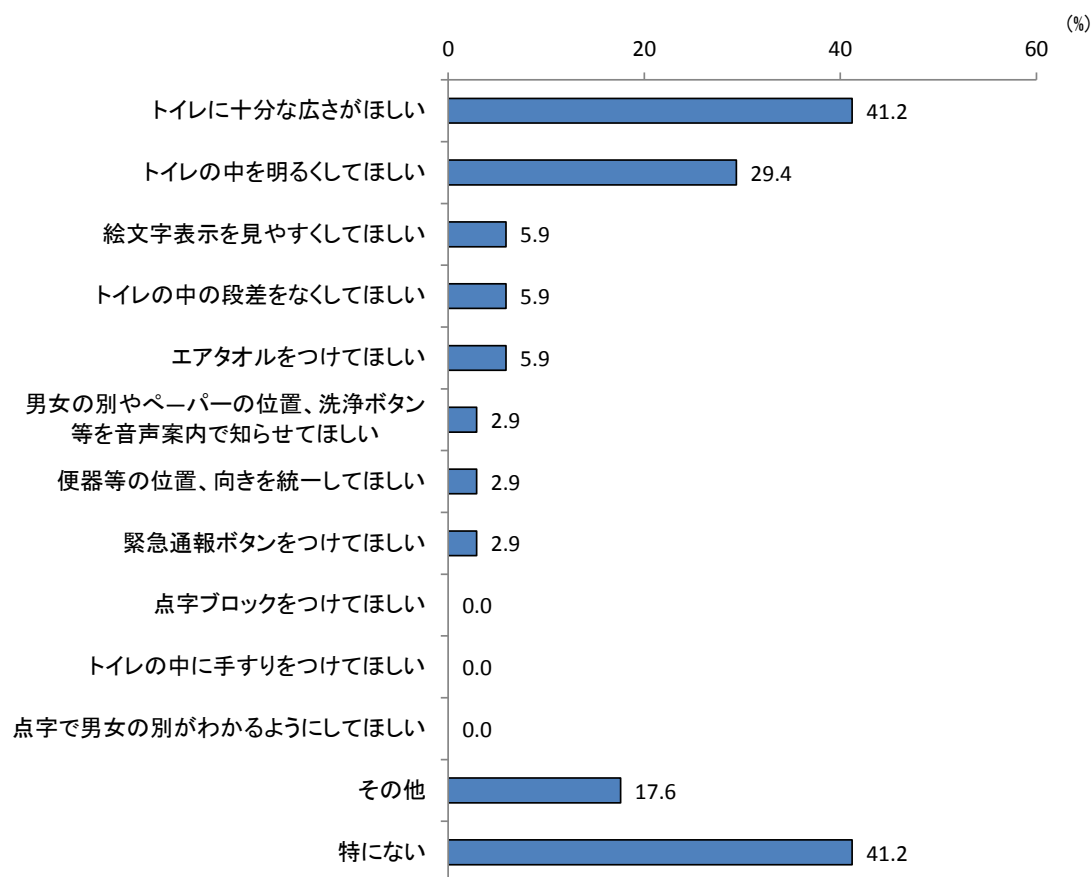


(5) 外出先のトイレに望むこと

問23 外出先のトイレに望むことは何ですか。(○はいくつでも)

外出先のトイレに望むことについては「トイレに十分な広さがほしい」が41.2%で最も多く、次いで「トイレの中を明るくしてほしい」が29.4%となっています。

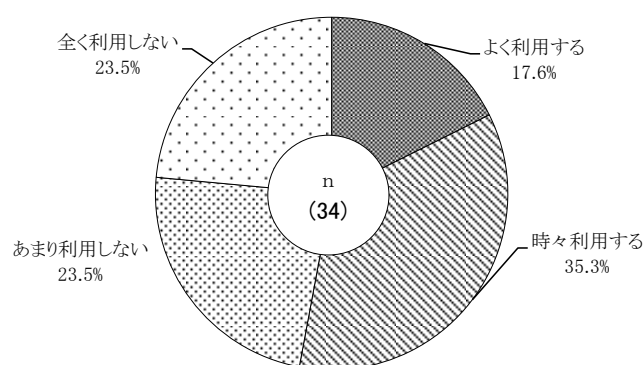
n=(34)



（６）公園の利用状況

問24 あなたは日頃、近くの公園を利用していますか。（○は1つ）

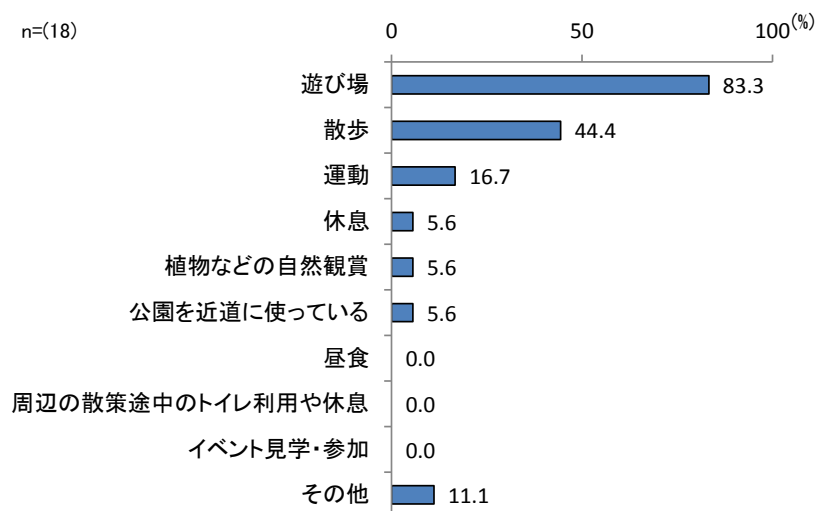
「よく利用する」が17.6%、「時々利用する」が35.3%となっています。



（７）公園の利用目的

問25 問24で「1. よく利用する」または「2. 時々利用する」に○をつけた方におたずねします】あなたが公園を利用する目的は何ですか。（○はいくつでも）

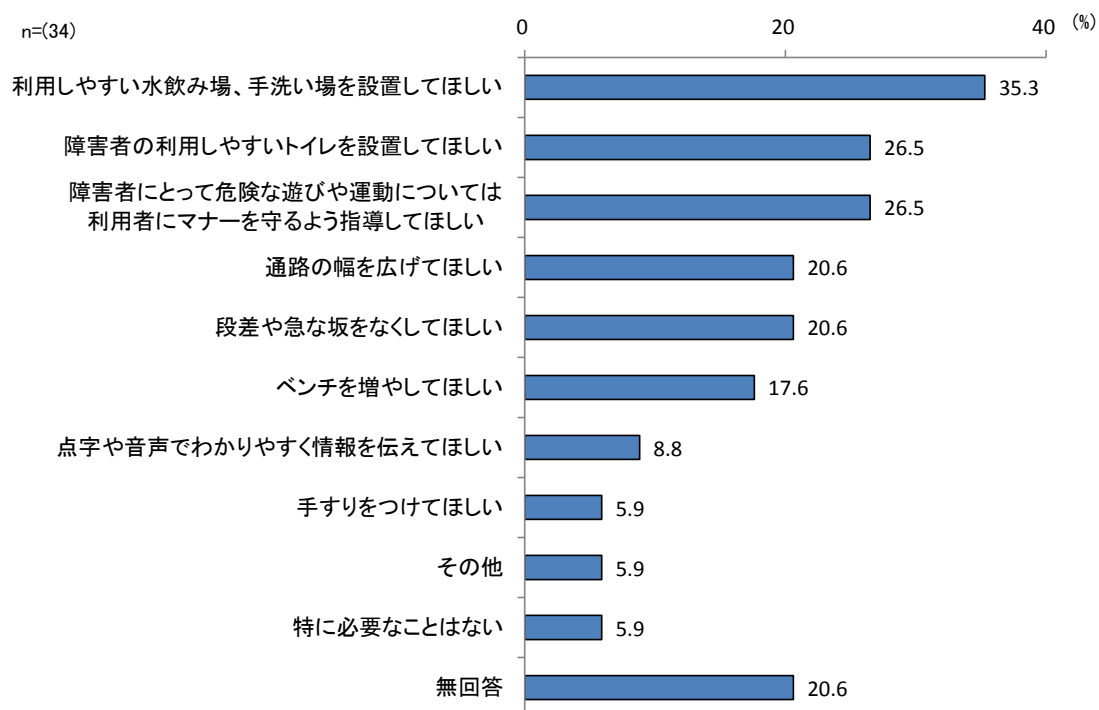
「遊び場」が83.3%で最も多く、次いで「散歩」が44.4%となっています。



(8) 障害者の公園利用のために必要なこと

問26 あなたは、障害者が安心して公園を利用できるようにするために、何が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

「利用しやすい水飲み場、手洗い場を設置してほしい」が 35.3%で最も多く、次いで「障害者の利用しやすいトイレを設置してほしい」と「障害者にとって危険な遊びや運動については利用者にマナーを守るよう指導してほしい」が 26.5%となっています。

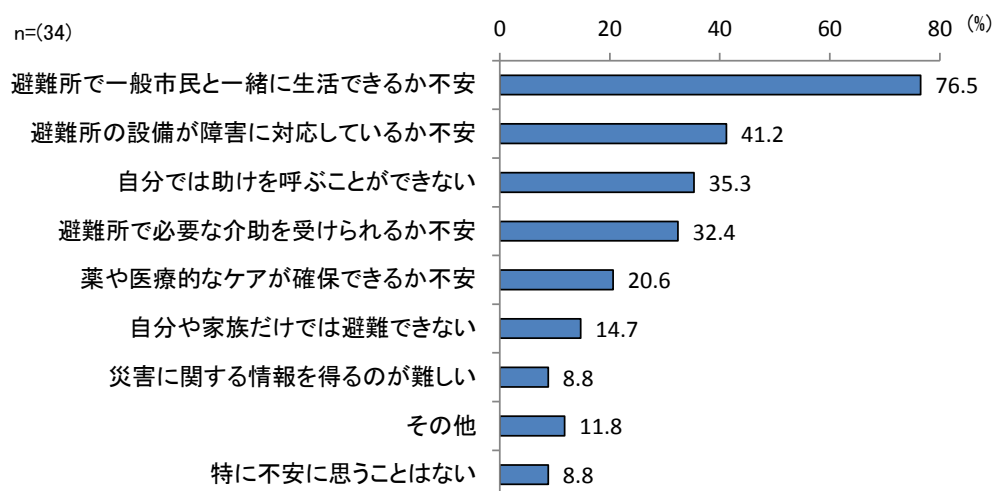


6. 災害対策について

(1) 災害時に不安に思うこと

問27 あなた（や保護者・ご家族の方）は、地震などの災害が起きた時について、どのようなことを不安に思いますか。（〇はいくつでも）

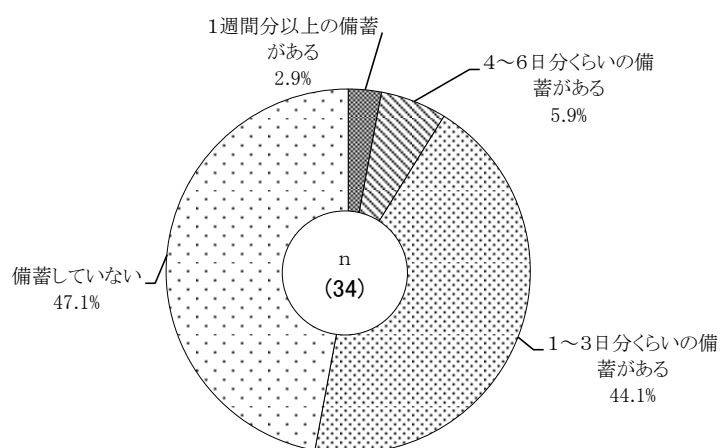
「避難所で一般市民と一緒に生活できるか不安」が 76.5%で最も多く、以下「避難所の設備が障害に対応しているか不安」が 41.2%、「自分では助けを呼ぶことができない」が 35.3%となっています。



(2) 災害発生に備えた備蓄状況

問28 あなたは、災害発生に備えて、避難生活に必要な物資（薬や装具等）を、備蓄していますか。（〇は1つ）

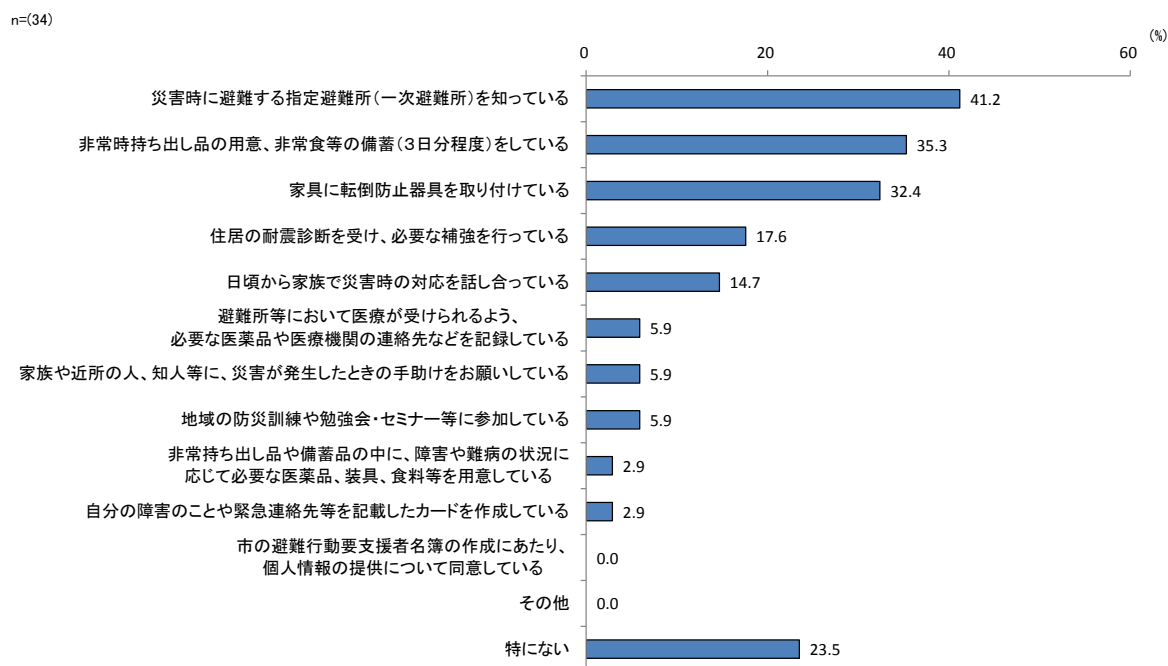
「1～3日分くらいの備蓄がある」が44.1%で最も多くなっています。



(3) 災害に対する備え

問 29 あなたは、災害に対してどのような備えをしていますか。(〇はいくつでも)

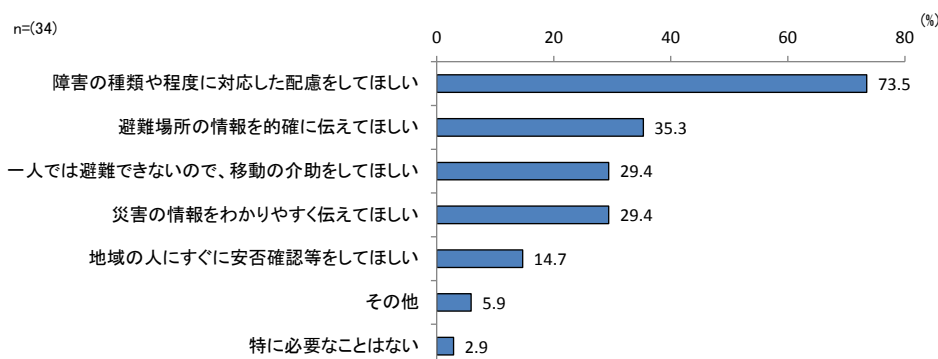
「災害時に避難する指定避難所（一次避難所）を知っている」が 41.2%で最も多く、以下「非常時持ち出し品の用意、非常食等の備蓄（3 日分程度）」をしている」が 35.3%、「家具に転倒防止器具を取り付けている」が 32.4% となっています。



(4) 災害で避難する場合に必要な支援

問 30 あなたは、災害で避難する場合に、どのような支援をしてほしいですか。(〇はいくつでも)

「障害の種類や程度に対応した配慮をしてほしい」が 73.5%で最も多く、次いで「避難場所の情報を的確に伝えてほしい」が 35.3%となっています。

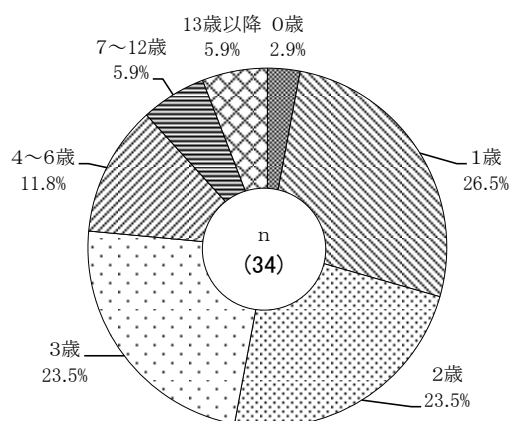


7. 療育・保育について

(1) 障害に気づいた時期

問 31 保護者・ご家族の方が、あて名のお子さんの障害に気づいたのはいつですか。
(○は1つ)

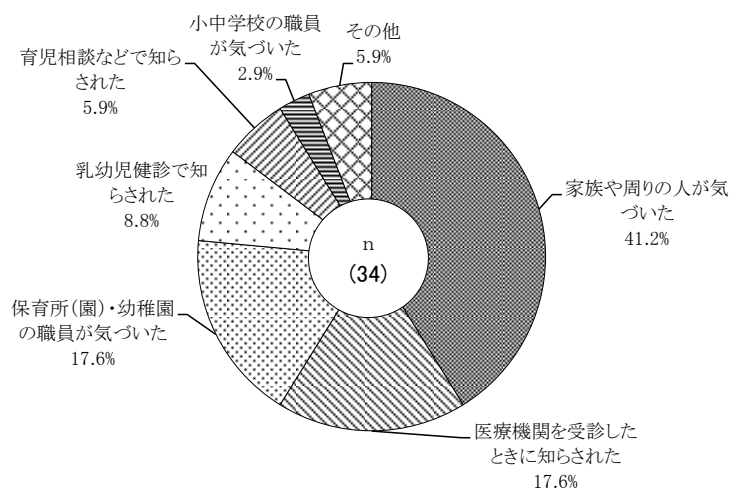
「1歳」が26.5%、「2歳」、「3歳」が23.5%と、いずれも2割を超えています。



(2) 障害に気づいたきっかけ

問 32 保護者・ご家族の方が、あて名のお子さんの障害に気づいたきっかけは何ですか。(○は1つ)

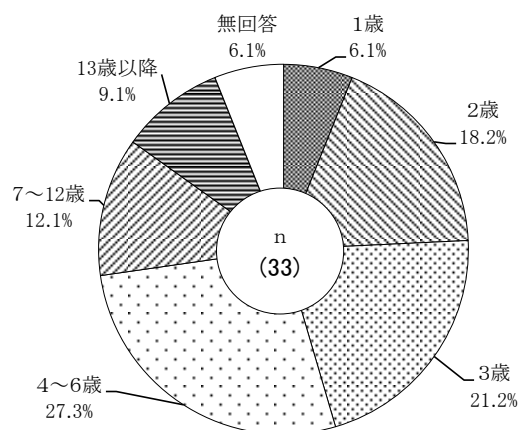
「家族や周りの人が気づいた」が41.2%で最も多く、次いで「医療機関を受診したときに知らされた」、「保育所(園)・幼稚園の職員が気づいた」が17.6%となっています。



(3) 診断・判定を受けた年齢

問 33 【医師による診断名が出ている方（問5で特に診断は受けていない（9番）に○をつけなかった方」におたずねします。】あなたが、診断・判定を受けたのは何歳の時ですか。（○は1つ）

「4～6歳」が27.3%で最も多く、以下「3歳」が21.2%、「2歳」が18.2%となっています。



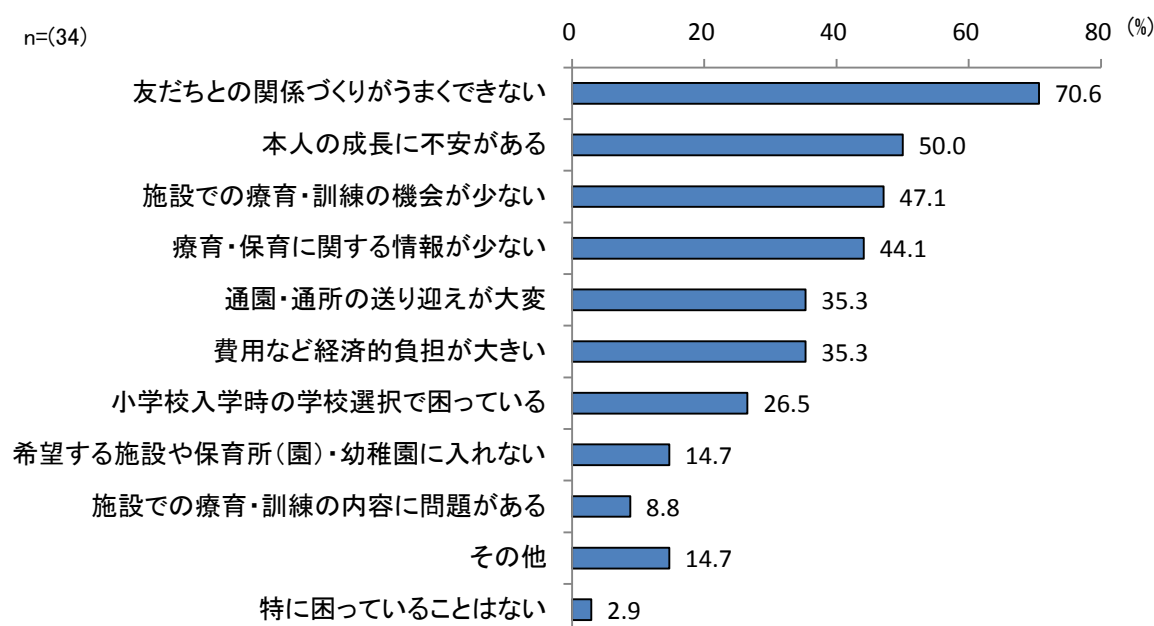
(4) 療育・保育について困っていること

問 34 保護者・ご家族の方が、あて名のお子さんの療育・保育について困っている（または以前に困ったことがある）ことはありますか。（〇はいくつでも）

「友だちとの関係づくりがうまくできない」が 70.6%で最も多く、以下「本人の成長に不安がある」が 50.0%「施設での療育・訓練の機会が少ない」が 47.1%となっています。

年齢別でみると、3～5歳、6～8歳では、「友だちとの関係づくりがうまくできない」が他の年代より多くなっています。また、6～8歳では「療育・保育に関する情報が少ない」が他の年代より多くなっています。

前回調査と比較すると、今回「友だちとの関係づくりがうまくできない」が増加し、その一方、「本人の成長に不安がある」は減少しています。



●年齢別

	調査数	療育・保育に関する情報が少ない	希望する施設や保育所(園)・幼稚園に入れない	施設での療育・訓練の機会が少ない	施設での療育・訓練の内容に問題がある	本人の成長に不安がある	友だちとの関係づくりがうまくできない
全 体	34 100.0	15 44.1	5 14.7	16 47.1	3 8.8	17 50.0	24 70.6
0～2歳	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －
3～5歳	16 100.0	6 37.5	1 6.3	6 37.5	1 6.3	8 50.0	12 75.0
6～8歳	9 100.0	6 66.7	3 33.3	7 77.8	2 22.2	6 66.7	7 77.8
9～11歳	1 100.0	1 100.0	－ －	1 100.0	－ －	－ －	1 100.0
12～14歳	1 100.0	－ －	－ －	－ －	－ －	1 100.0	1 100.0
15歳以上	7 100.0	2 28.6	1 14.3	2 28.6	－ －	2 28.6	3 42.9

	調査数	通園・通所の送り迎えが大変	費用など経済的負担が大きい	小学校入学時の学校選択で困っている	特に困っていることはない	その他
全 体	34 100.0	12 35.3	12 35.3	9 26.5	1 2.9	5 14.7
0～2歳	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －	－ －
3～5歳	16 100.0	3 18.8	3 18.8	6 37.5	1 6.3	1 6.3
6～8歳	9 100.0	6 66.7	5 55.6	3 33.3	－ －	2 22.2
9～11歳	1 100.0	1 100.0	－ －	－ －	－ －	－ －
12～14歳	1 100.0	－ －	1 100.0	－ －	－ －	－ －
15歳以上	7 100.0	2 28.6	3 42.9	－ －	－ －	2 28.6

●経年比較

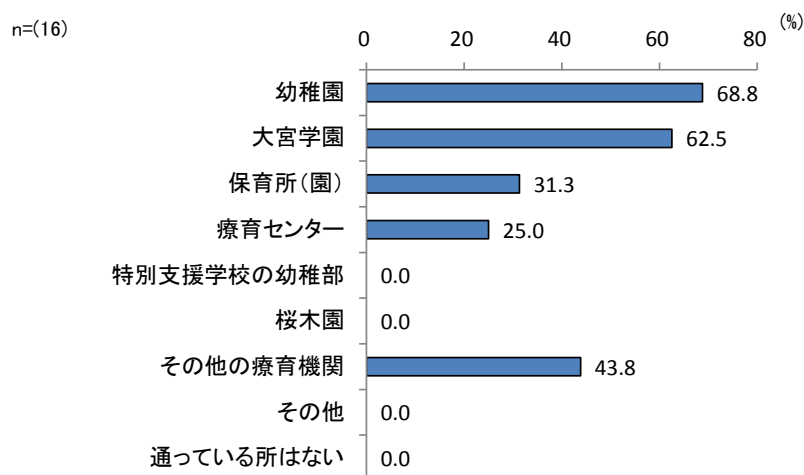
	調査数	療育・保育に関する情報が少ない	希望する施設や保育所(園)・幼稚園に入れない	施設での療育・訓練の機会が少ない	施設での療育・訓練の内容に問題がある	本人の成長に不安がある	友だちとの関係づくりがうまくできない
今回 (平成28年度)	34	15	5	16	3	17	24
	100.0	44.1	14.7	47.1	8.8	50.0	70.6
	増減	▲7.9	5.3	11.1	▲11.2	▲26.0	14.6
前回 (平成25年度)	25	13	5	9	5	19	14
	100.0	52.0	20.0	36.0	20.0	76.0	56.0

	調査数	通園・通所の送り迎えが大変	費用など経済的負担が大きい	小学校入学時の学校選択で困っている	特に困っていることはない	その他
今回 (平成28年度)	34	12	12	9	1	5
	100.0	35.3	35.3	26.5	2.9	14.7
	増減	15.3	73	10.5	▲1.1	▲1.3
前回 (平成25年度)	25	5	7	4	1	4
	100.0	20.0	28.0	16.0	4.0	16.0

(5) 現在通っているところ（小学校入学前）

問 35 【あなた（あて名のお子さん）が小学校入学前の方におたずねします。】あなたが現在通っているところがありますか。（○はいくつでも）

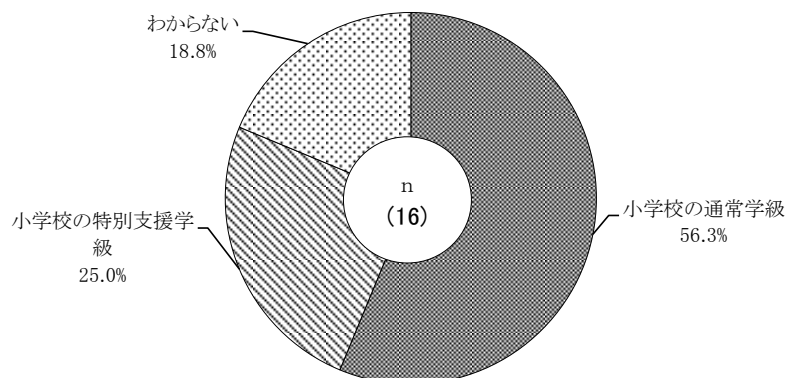
「幼稚園」が68.8%、「大宮学園」が62.5% と、いずれも6割を超えています。



(6) 小学校入学時の希望

問 36 【あなた（あて名のお子さん）が小学校入学前の方におたずねします。】あなたが小学校（小学部）に入学するとき、どの学校・学級に通わせたいと思いますか。（○は1つ）

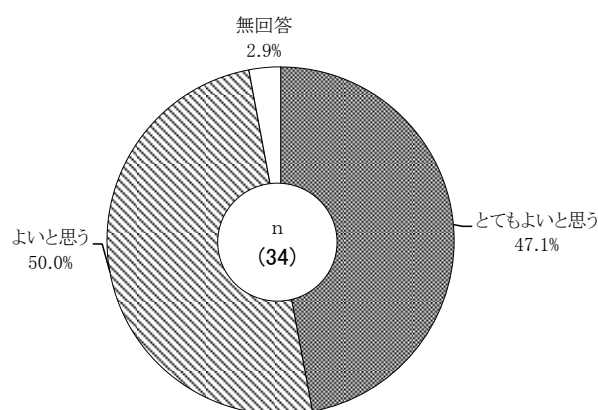
「小学校の通常学級」が56.3%で最も多く、次いで「小学校の特別支援学級」が25.0%となっています。



(7) 子どもの支援に関する情報が小学校に提供されることについて

問 37 【保護者の方におたずねします。】療育・保育から小学校に入学する際に、保護者の同意があった場合、お子さんの支援に関する情報が小学校に提供されることについてどう思いますか。(〇は1つ)

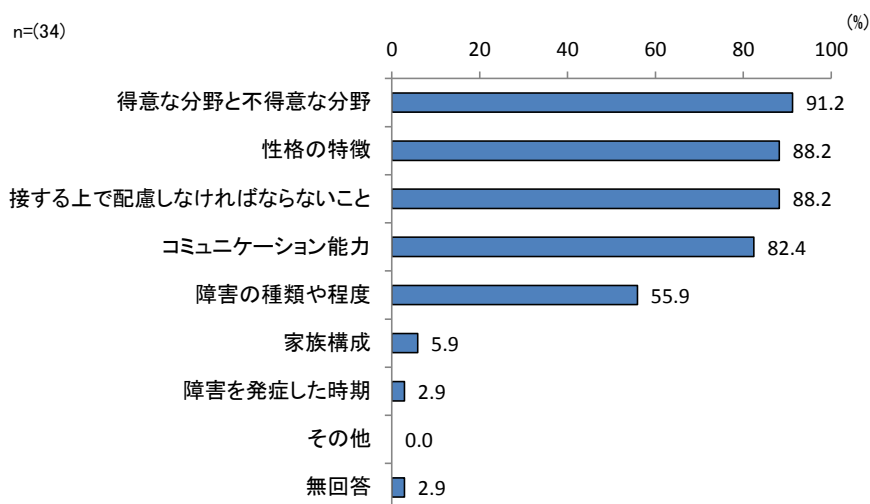
「とてもよいと思う」が47.1%、「よいと思う」が50.0%となっています。



(8) 小学校に提供されるとよい情報

問 38 【保護者の方におたずねします。】療育・保育から小学校に入学する際に、保護者の同意があった場合、お子さんの支援についてのどのような情報が小学校に提供されるとよいと思いますか。(〇はいくつでも)

「得意な分野と不得意な分野」が91.2%、「性格の特徴」、「接する上で配慮しなければならないこと」が88.2%と、いずれも9割前後を占めています。また、「コミュニケーション能力」も82.4%と多くなっています。

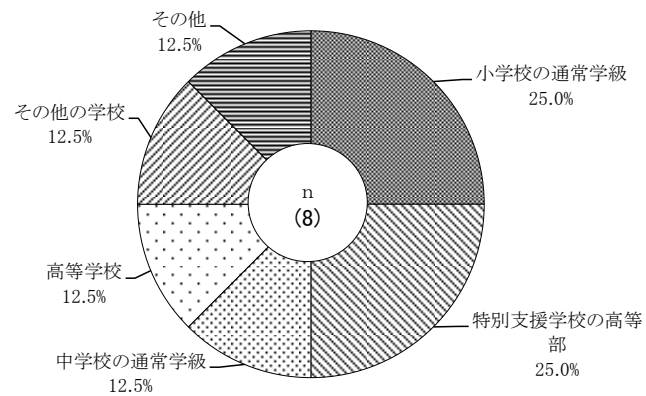


8. 学校・教育について

(1) 現在通っているところ（在学中）

問 39 あなたは、主にどの学校・学級等に通っていますか。（○は1つ）

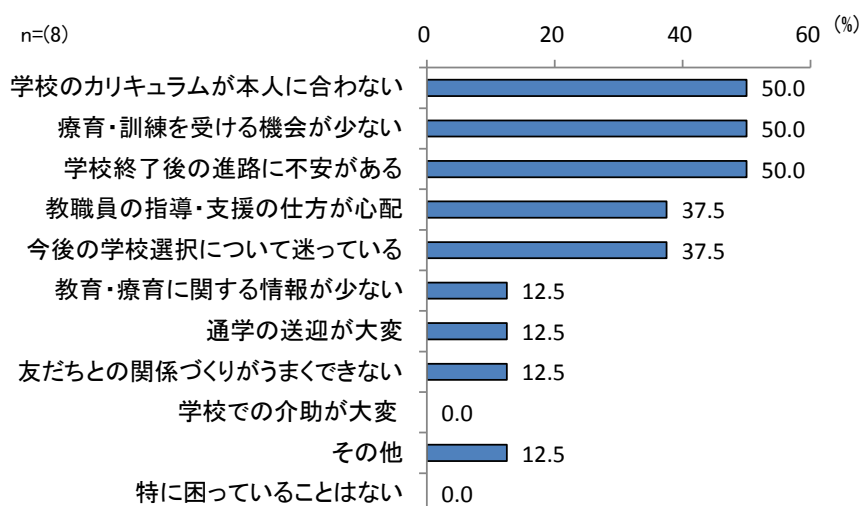
「小学校の通常学級」、「特別支援学校の高等部」が、いずれも 25.0%となっています。



(2) 学校・教育について困っていること

問 40 あなた（や保護者・ご家族の方）は、学校や教育について、どのようなことで困っていますか。（〇はいくつでも）

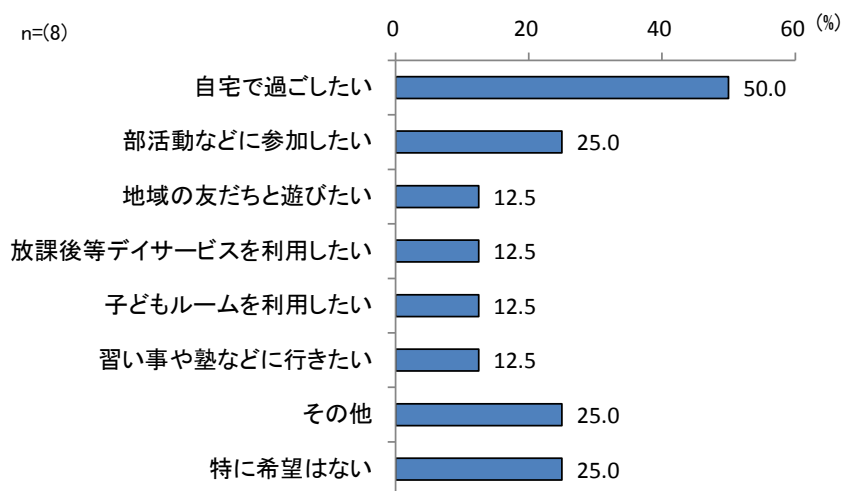
「学校のカリキュラムが本人には合わない」、「療育・訓練を受ける機会が少ない」、「学校終了後の進路に不安がある」が、いずれも 50.0% と多くなっています。



(3) 放課後や夏休みの過ごし方

問 41 あなた（や保護者・ご家族の方）は、放課後や夏休みなどの過ごし方について、どのような希望をお持ちですか。（〇はいくつでも）

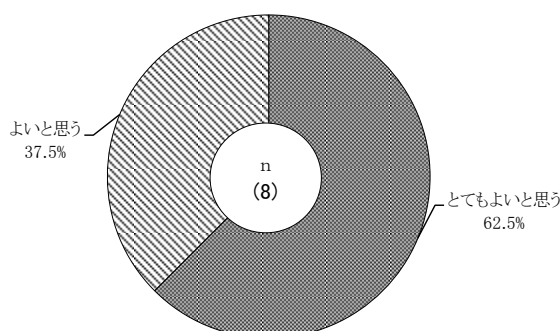
「自宅で過ごしたい」が 50.0% で最も多く、次いで「部活動などに参加したい」が 25.0% となっています。



(4) 子どもの支援に関する情報が中学校に提供されることについて

問 42 【保護者の方におたずねします。】小学校から中学校に入学する際に、保護者の同意があった場合、お子さんの支援に関する情報が中学校に提供されることについてどう思いますか。(○は1つ)

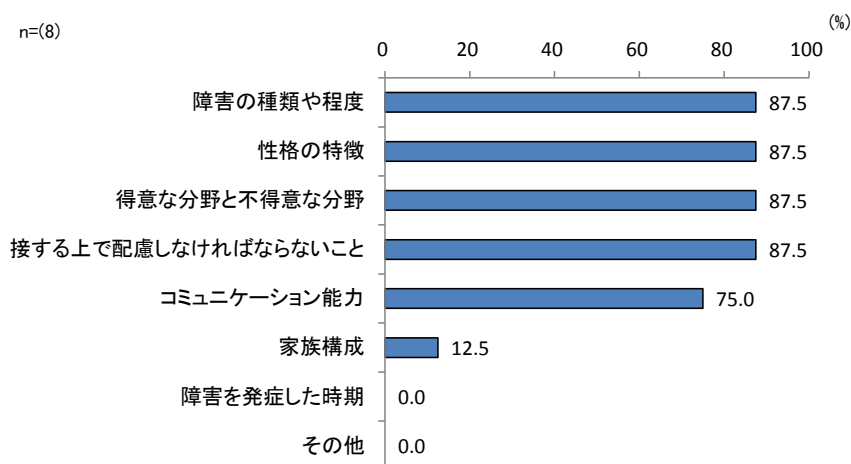
「とてもよいと思う」が62.5%、「よいと思う」が37.5%となっています。



(5) 中学校に提供されるとよい情報

問 43 【保護者の方におたずねします。】小学校から中学校に入学する際に、保護者の同意があった場合、お子さんの支援についてのどのような情報が中学校に提供されるとよいと思いますか。(○はいくつでも)

「障害の種類や程度」、「性格の特徴」、「得意な分野と不得意な分野」、「接する上で配慮しなければならないこと」が、いずれも87.5% となっています。



(6) 中学校卒業後の進路希望

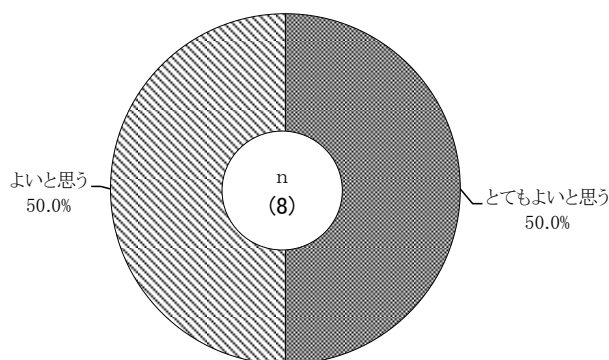
問 44 【小学校（小学部）・中学校（中学部）に通っている方におたずねします。】あなたは、中学校卒業後、どのような進路を希望していますか。（○は1つ）

回答者数が少なかったため、結果については省略いたします。

(7) 子どもの支援に関する情報が高等学校に提供されることについて

問 45 【保護者の方におたずねします。】中学校から高等学校（高等部）に入学する際に、保護者の同意があった場合、お子さんの支援に関する情報が高等学校（高等部）に提供されることについてどう思いますか。（○は1つ）

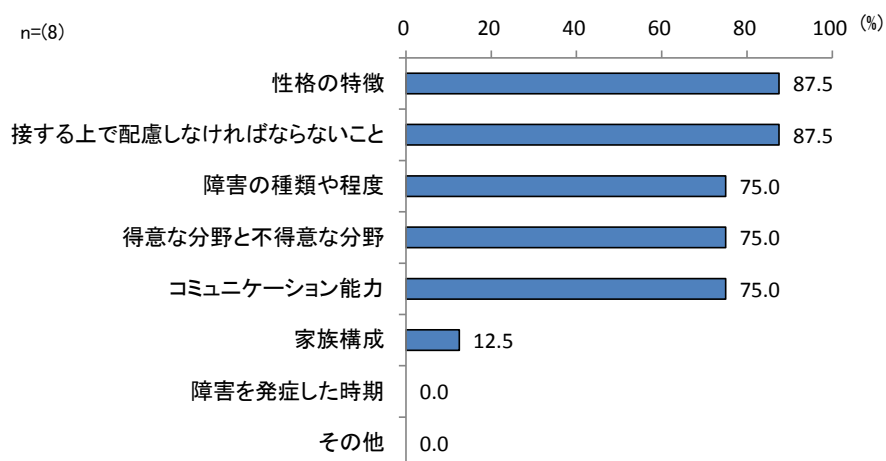
「とてもよいと思う」が50.0%、「よいと思う」が50.0%となっています。



(8) 高等学校に提供されるとよい情報

問 46 【保護者の方におたずねします。】中学校から高等学校（高等部）に入学する際に、保護者の同意があった場合、お子さんの支援についてのどのような情報が高等学校（高等部）に提供されるとよいと思いますか。（〇はいくつでも）

「性格の特徴」、「接する上で配慮しなければならないこと」が 87.5% と多くなっています。



(9) 学校卒業後の進路希望

問 47 【高等学校（高等部）に通っている方におたずねします。】あなたは、学校卒業後、どのような進路を希望していますか。（〇は1つ）

高等学校（高等部）在学中の方のみを対象にしたことにより、回答者数が少なかったため、結果については省略いたします。

9. 日中活動・就労について

問48、49は、学校卒業後の方のみ対象（小学校入学前・在学中の場合は、回答不要）

（1）日中の過ごし方

問48 あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。（最もあてはまるものにひとつだけ○）

（2）一般就労のために必要な支援

問49 あなたは、障害のある人が企業などで一般就労するためには、どのような支援が必要だと思いますか。（○はいくつでも）

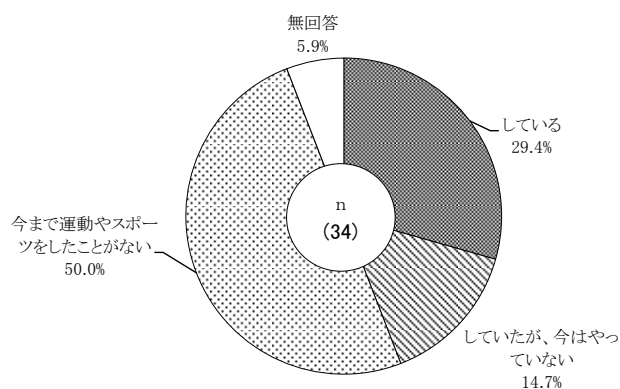
（1）日中の過ごし方、（2）一般就労のために必要な支援、に関する設問については、学校卒業後の方のみを対象にしたことにより、回答者数が少なかったため、結果については省略いたします。

10. 運動やスポーツについて

(1) 運動やスポーツの実施状況

問 50 あなたは、運動やスポーツをしていますか。(学校に通っている方は、学校の授業を除く)

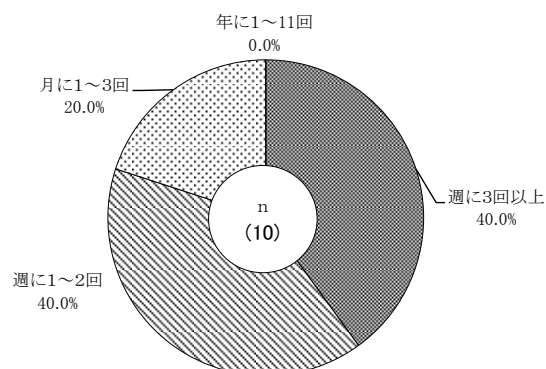
「している」が29.4%、「していたが、今はやっていない」が14.7%となっています。



(2) 運動やスポーツの実施頻度

問 51 【問 50 で「1. している」に○をつけた方におたずねします】
あなたは、どのくらいの頻度で運動やスポーツをしていますか。

「週に3回以上」、「週に1～2回」がいずれも40.0%となっています。

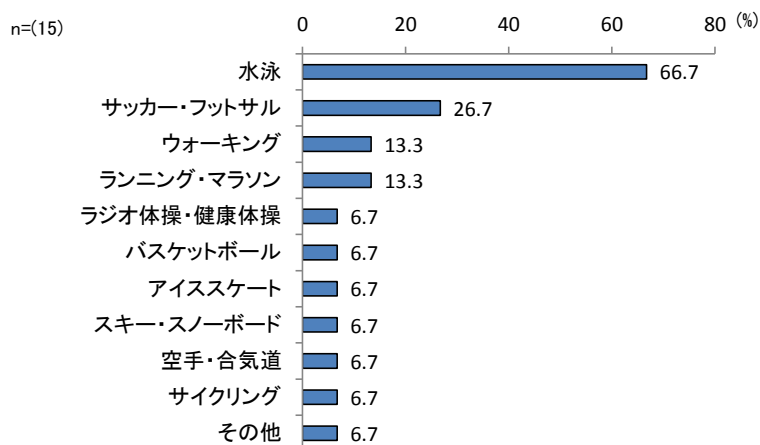


(3)実施している（していた）運動やスポーツの種目

問 52 【問 50 で「1. している」または「2. していたが、今はやっていない」に○をつけた方におたずねします】

あなたが行っている(行っていた)運動やスポーツの種目は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

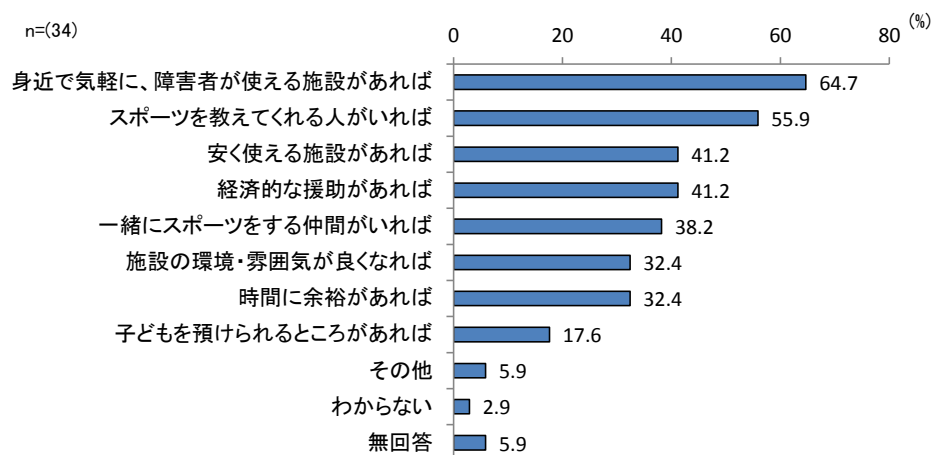
「水泳」が66.7%で最も多く、次いで「サッカー・フットサル」が26.7%となっています。



(4) 障害者がスポーツ活動をより多く行うために必要なこと

問 53 今後、障害のある方がスポーツ活動を、より多く行うためには、どのようになればいいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

「身近で気軽に、障害者が使える施設があれば」が64.7%で最も多く、以下「スポーツを教えてくれる人がいれば」が55.9%、「安く使える施設があれば」と「経済的な援助があれば」が41.2%となっています。

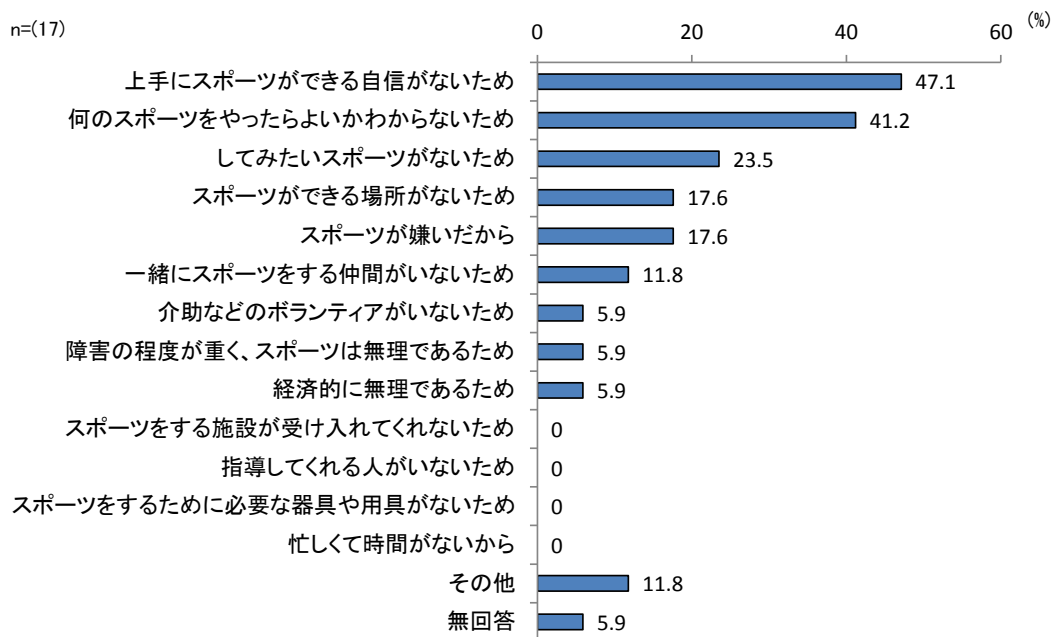


(5) スポーツをしない理由

問 54 【問 50 で「3. 今まで運動やスポーツをしたことがない」に○を付けた方におたずねします】

あなたがスポーツをしない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「上手にスポーツができる自信がないため」が47.1%、「何のスポーツをやったらよいかわからないため」が41.2%と、いずれも4割を超えています。

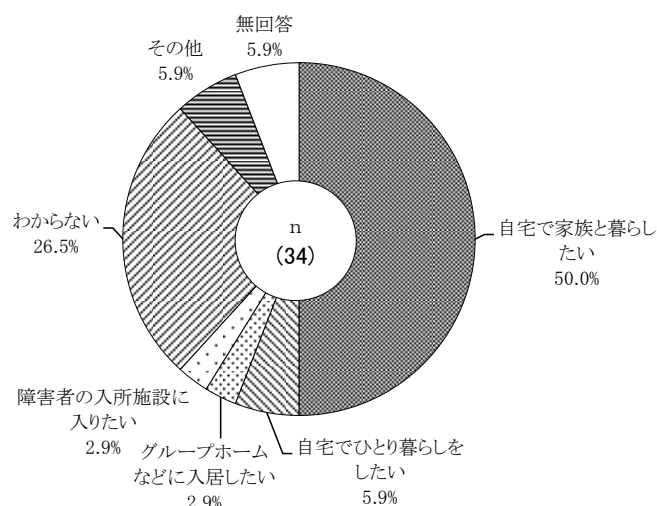


11. 将来について

(1) 将来の暮らし方の希望

問 55 あなたは将来、どのような暮らし方をしたいと思いますか。(〇は1つ)

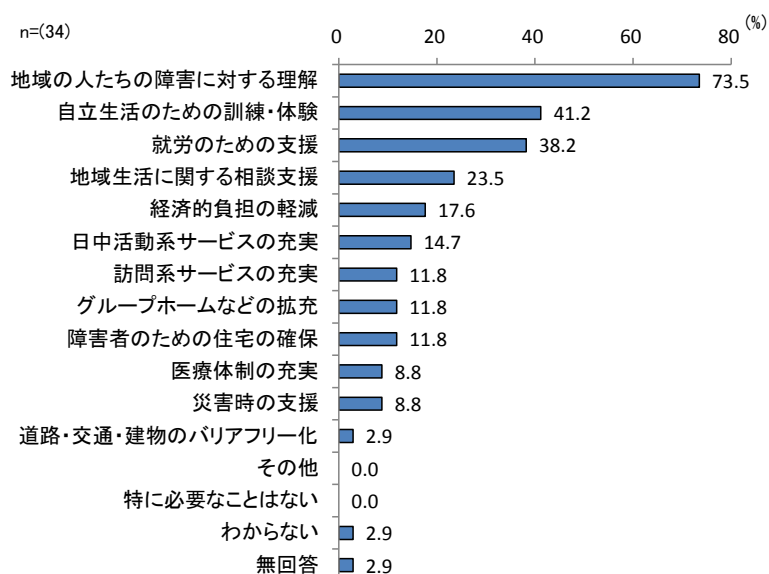
「自宅で家族と暮らしたい」が50.0%で最も多くなっています。



(2) 地域で生活するために必要なこと

問 56 あなたは、障害のある人が地域で生活していくためには、何が必要だと思いますか。(〇は3つまで)

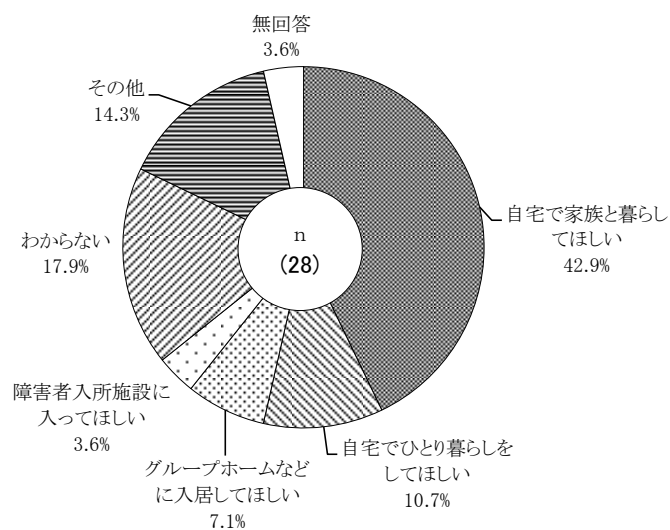
「地域の人たちの障害に対する理解」が73.5%で最も多く、以下「自立生活のための訓練・体験」が41.2%、「就労のための支援」が38.2%となっています。



(3) 将来希望する被介助者の暮らし方

問 57 【主介助者の方におたずねします。】今あなたが介助をしている人に、将来どのような暮らし方をしてほしいと思いますか。（○は1つ）

「自宅で家族と暮らしてほしい」が42.9%で最も多くなっています。

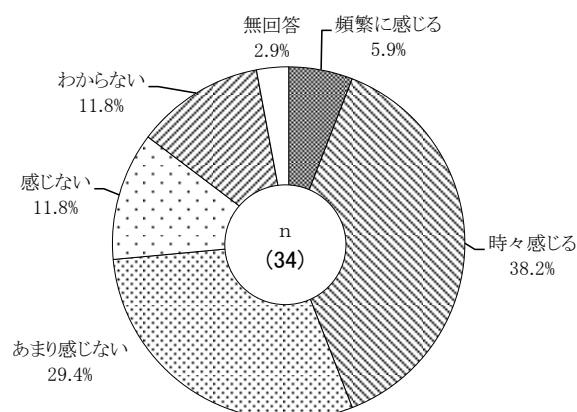


12. 障害のある人に対する理解度について

(1) 日常生活の中で感じる差別の有無

問 58 あなたは地域で生活をしていて、差別を感じることはありますか。(○は1つ)

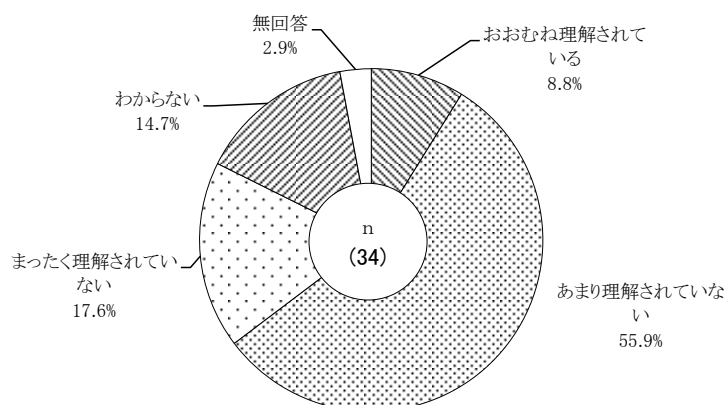
「頻繁に感じる」が5.9%、「時々感じる」が38.2%となっています。一方、「あまり感じない」は29.4%、「感じない」は11.8%となっています。



(2) 障害のある人に対する市民の理解度

問 59 あなたは、障害のある人に対する市民の理解が、どの程度あると感じていますか。(○は1つ)

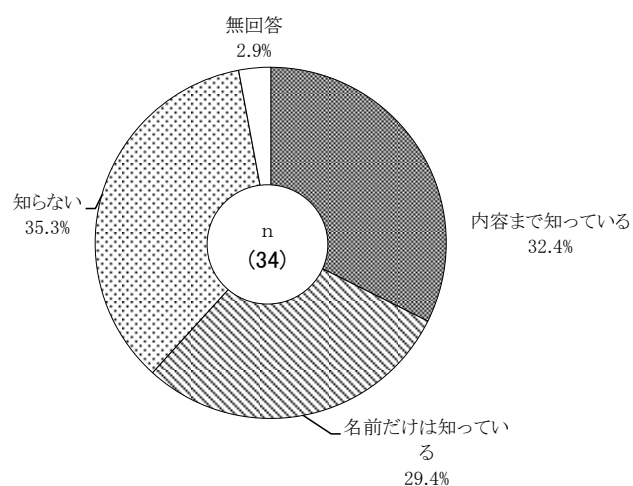
「おおむね理解されている」が8.8%となっています。一方、「あまり理解されていない」は55.9%、「まったく理解されていない」は17.6%となっています。



(3) 障害者差別解消法の認知

問 60 障害者への差別をなくすことを目的として、平成 28 年 4 月 1 日に「障害者差別解消法」が施行されましたが、このことを知っていますか。(〇は 1 つ)

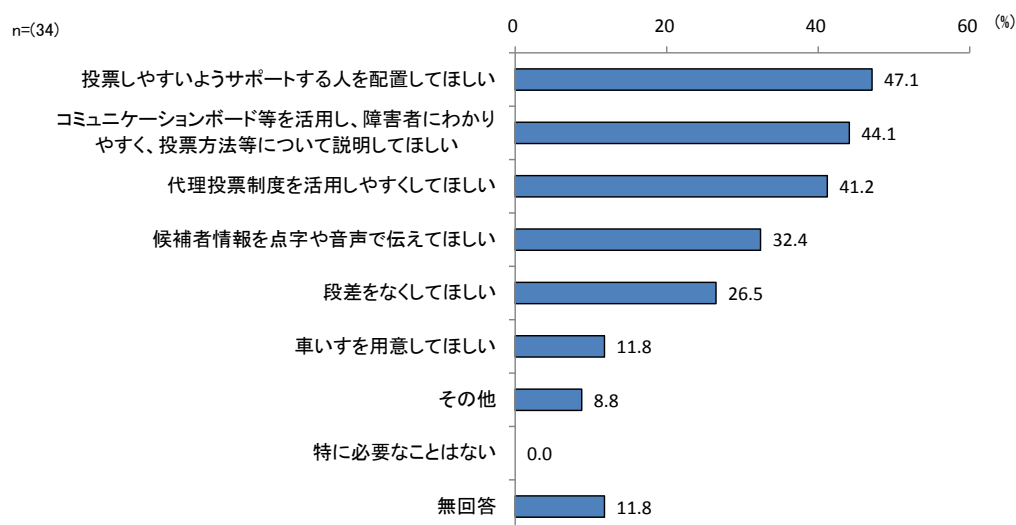
「内容まで知っている」が 32.4%、「名前だけは知っている」が 29.4%となっています。一方、「知らない」が 35.3%となっています。



(4) 障害者が選挙の投票をしやすくするために必要なこと

問 61 あなたは、障害者が選挙の投票をしやすくするために、投票所に何が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

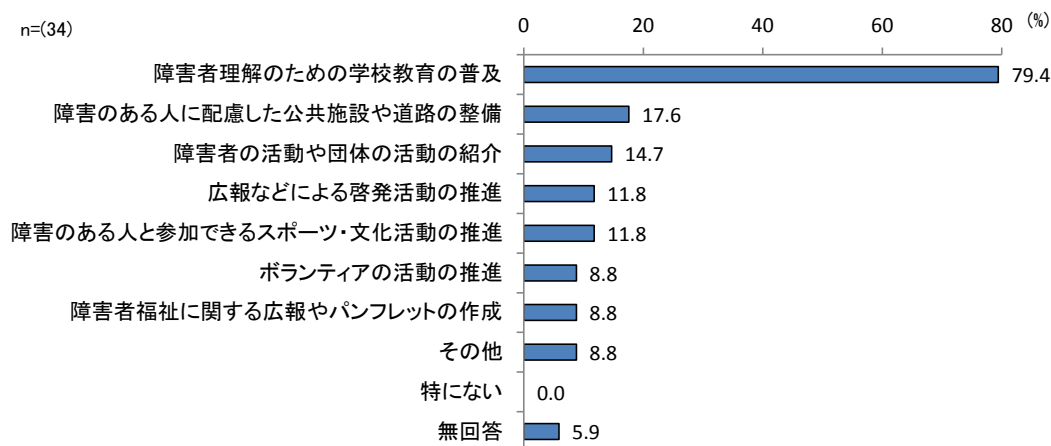
「投票しやすいようサポートする人を配置してほしい」が 47.1%、「コミュニケーションボード等を活用し、障害者にわかりやすく、投票方法等について説明してほしい」が 44.1%、「代理投票制度を活用しやすくしてほしい」が 41.2%と、いずれも4割を超えています。



(5) 障害者理解のため、行政に取り組んでもらいたいこと

問 62 あなたは、障害者に対する理解をより深めるために、どのようなことを行政に取り組んでもらいたいですか。(〇は2つまで)

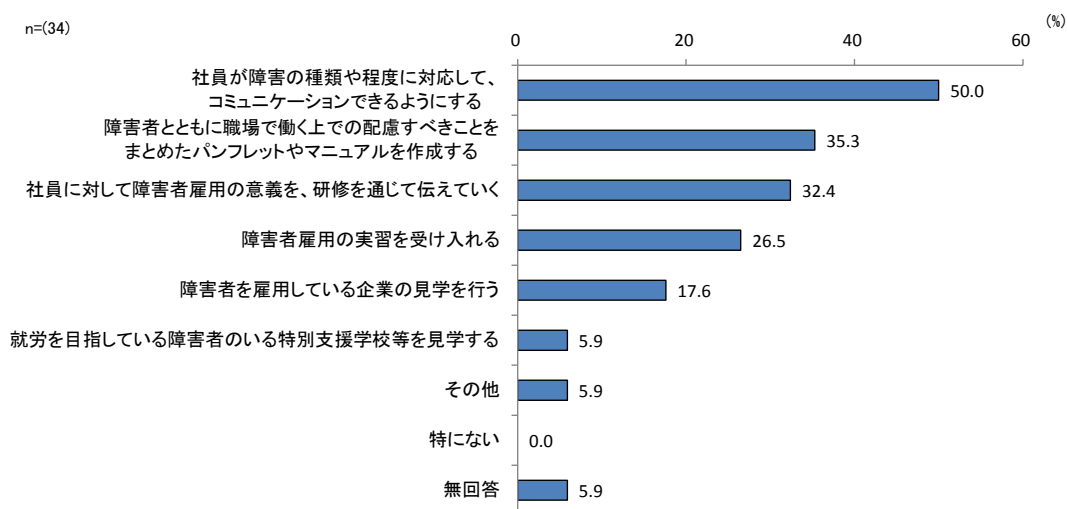
「障害者理解のための学校教育の普及」が 79.4%で最も多くなっています。



（６）障害者理解のため、企業に取り組んでもらいたいこと

問 63 あなたは、障害者に対する理解をより深めるために、どのようなことを企業に取り組んでもらいたいですか。（○は2つまで）

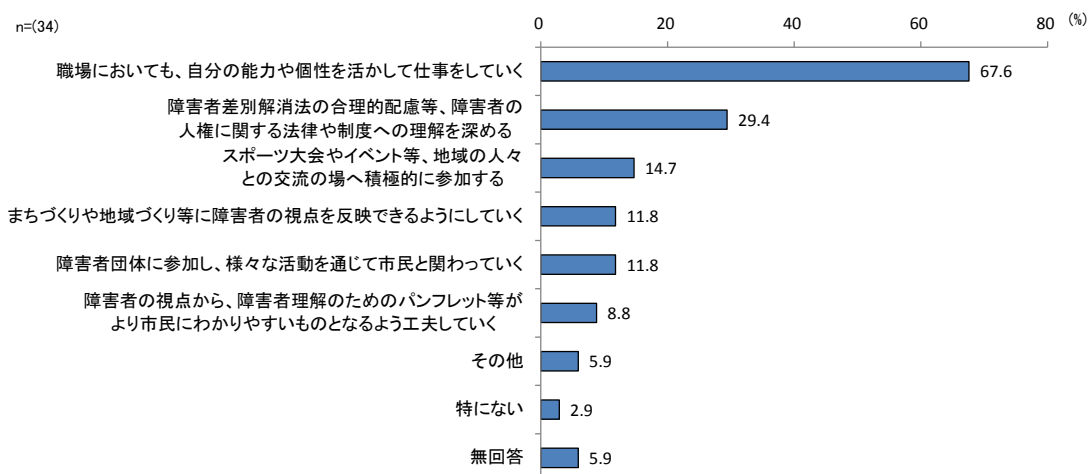
「社員が障害の種類や程度に対応して、コミュニケーションできるようにする」が 50.0%で最も多く、以下「障害者とともに職場で働く上での配慮すべきことをまとめたパンフレットやマニュアルを作成する」が 35.3%、「社員に対して障害者雇用の意義を、研修を通じて伝えていく」が 32.4%となっています。



（７）障害者理解のため、障害者自身に取り組むべきこと

問 64 あなたは、障害者に対する理解をより深めるために、どのようなことを企業に取り組んでもらいたいですか。（○は2つまで）

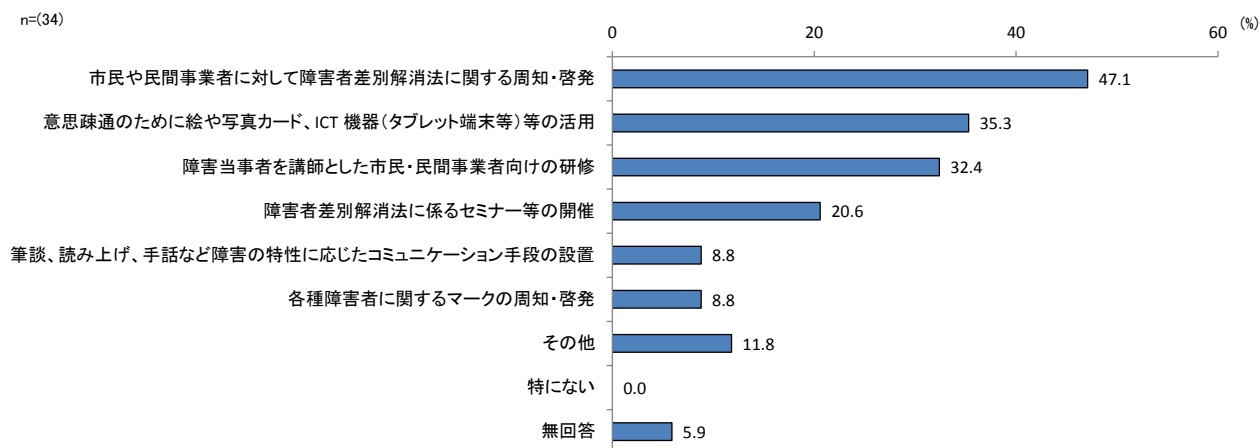
「職場においても、自分の能力や個性を活かして仕事をしていく」が 67.6%で最も多く、次いで「障害者差別解消法の合理的配慮等、障害者の人権に関する法律や制度への理解を深める」が 29.4%となっています。



(8) 社会的障壁の除去に向けて合理的配慮を進めていくために必要なこと

問 65 社会的障壁の除去に向けて、合理的配慮を進めていくために必要なことは何だと思われますか。(〇は2つまで)

「市民や民間事業者に対して障害者差別解消法に関する周知・啓発」が 47.1%で最も多く、以下「意思疎通のために絵や写真カード、ICT 機器(タブレット端末等)等の活用」が 35.3%、「障害当事者を講師とした市民・民間事業者向けの研修」が 32.4%となっています。



13. サービス利用について

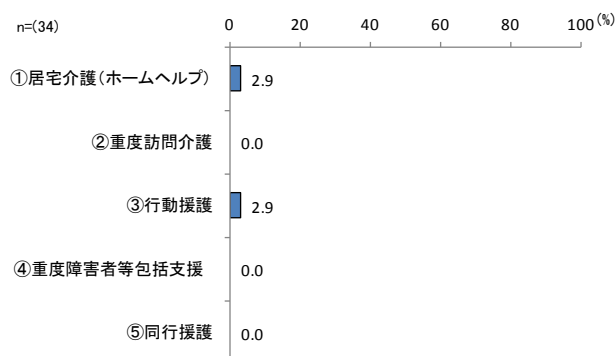
(1) 訪問系サービスの利用状況・利用意向

問 66 あなたは、次のような訪問系サービスを利用していますか。また今後利用したいと思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。

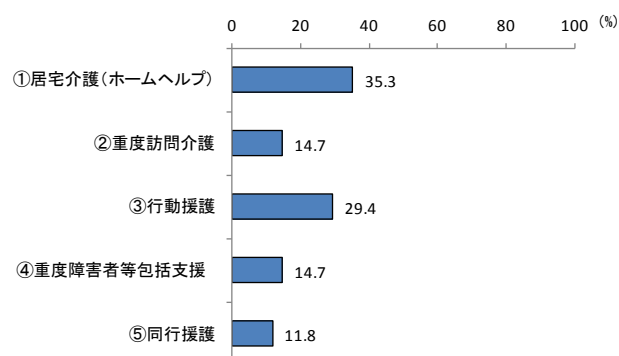
利用しているサービスをみると、「居宅介護（ホームヘルプ）」、「行動援護」が 2.9%となっています。

利用したいサービスをみると、「居宅介護（ホームヘルプ）」が 35.3%で最も多く、以下「行動援護」が 29.4%、「重度訪問介護」、「重度障害者等包括支援」が 14.7%となっています。

A. 現在の利用状況



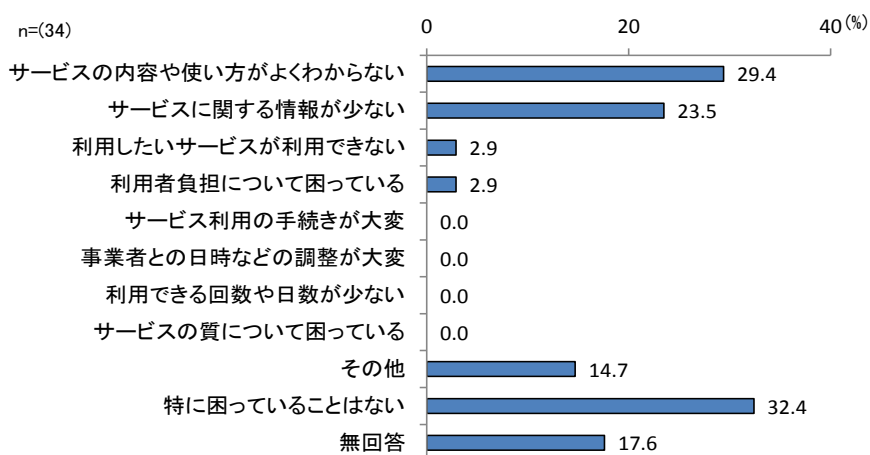
B. 今後の利用希望



(2) 訪問系サービスを利用する上で困っていること

問 67 あなたは、訪問系サービスの利用に関して困っていることがありますか。（〇はいくつでも）

「サービスの内容や使い方がよくわからない」が 29.4%で最も多く、次いで「サービスに関する情報が少ない」が 23.5%となっています。



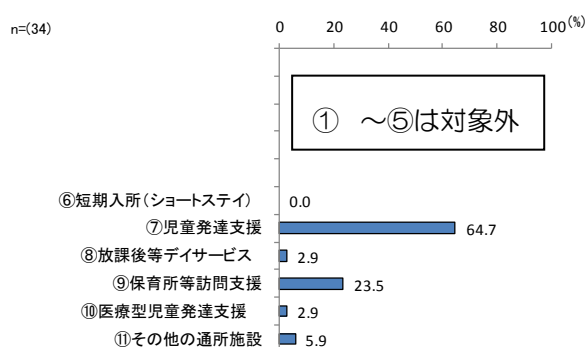
(3) 日中活動系サービスの利用状況・利用意向

問 68 あなたは、次のような日中活動系サービスを利用していますか。また今後利用したいと思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。

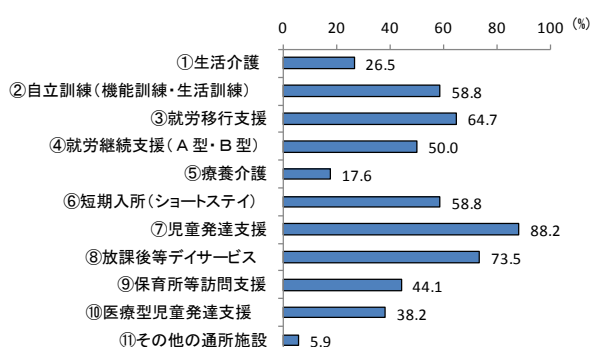
利用しているサービスをみると、「児童発達支援」が64.7%で最も多く、次いで「保育所等訪問支援」が23.5%となっています。

利用したいサービスについては、「児童発達支援」が88.2%で最も多く、以下「放課後等デイサービス」が73.5%、「就労移行支援」が64.7%となっています。

A. 現在の利用状況



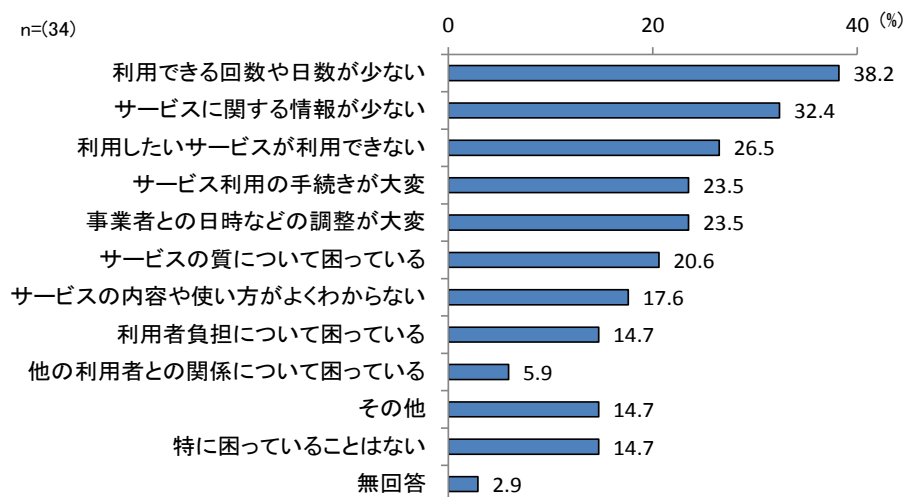
B. 今後の利用希望



(4) 日中活動系サービスを利用する上で困っていること

問 69 あなたは、日中活動系サービスの利用に関して困っていることがありますか。(〇はいくつでも)

「利用できる回数や日数が少ない」が38.2%で最も多く、次いで「サービスに関する情報が少ない」が32.4%となっています。

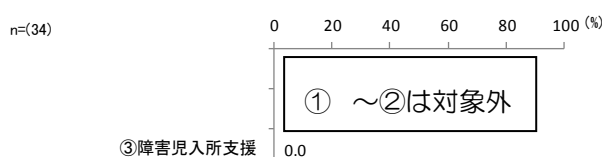


（５）居住系サービスの利用状況・利用意向

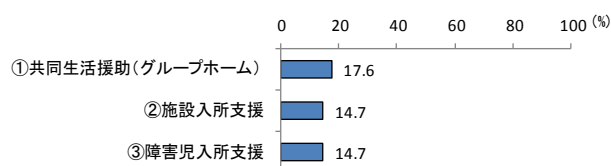
問 70 あなたは、次のような居住系サービスを利用していますか。また今後利用したいと思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。

利用したいサービスをみると、「共同生活援助（グループホーム）」が 17.6%で最も多く、以下「施設入所支援」、「障害児入所支援」が 14.7%となっています。

A. 現在の利用状況



B. 今後の利用希望

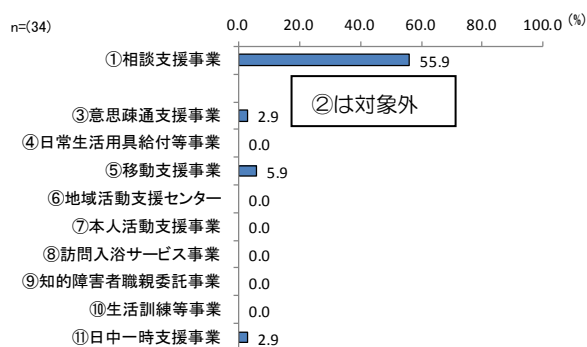


（６）地域生活支援事業の利用状況・利用意向

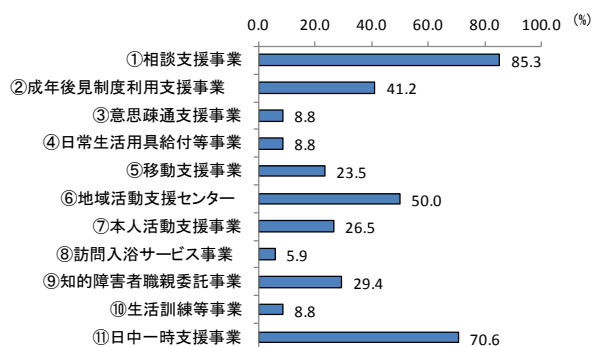
問 71 あなたは、次のようなサービスを利用していますか。また今後利用したいと思いますか。すでに利用している方も、今後利用したいかどうかをお答えください。

利用している地域生活支援事業をみると、「相談支援事業」が55.9%で最も多くなっています。
利用したい地域生活支援事業をみると、「相談支援事業」が 85.3%で最も多く、以下「日中一時支援事業」70.6%、「地域活動支援センター」が 50.0%となっています。

A. 現在の利用状況



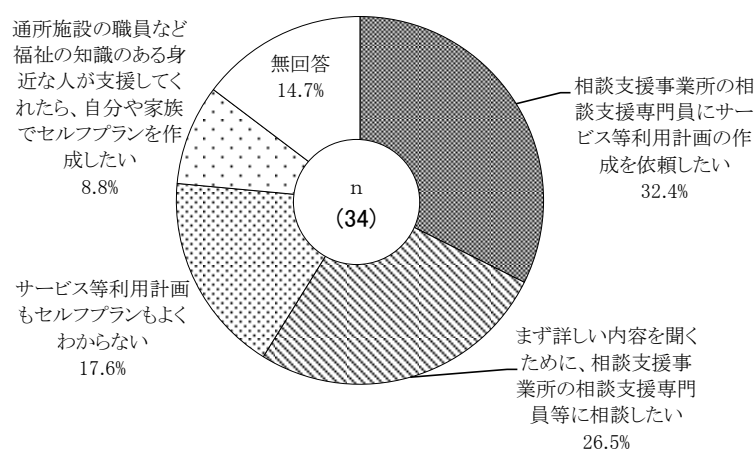
B. 今後の利用希望



(7) サービス等利用計画の作成についての意向

問 72 【問 66、68、70、71 にある障害福祉サービスを利用している方や、今後利用したい方にお聞きします】サービス等利用計画の作成について、どのように進めていきたいですか。(○はひとつ)

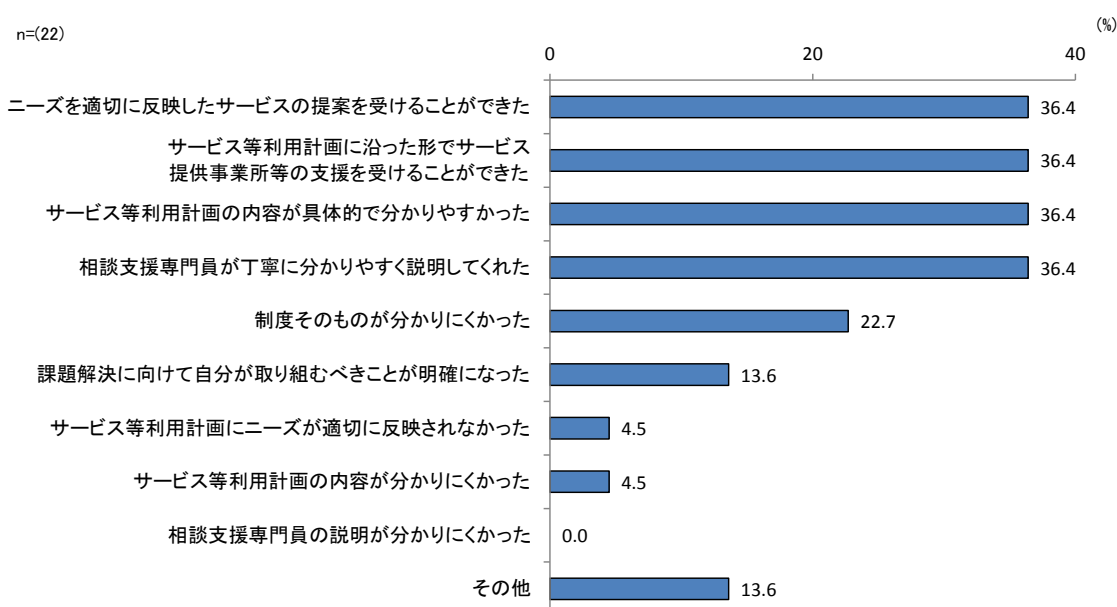
「相談支援事業所の相談支援専門員にサービス等利用計画の作成を依頼したい」が 32.4%で最も多く、次いで「まず詳しい内容を聞くために、相談支援事業所の相談支援専門員等に相談したい」が 26.5%となっています。一方、「サービス等利用計画もセルフプランもよくわからない」が 17.6%となっています。



（８）サービス等利用計画を作成して感じたこと

問 73 【これまでに特定相談支援事業所でサービス等利用計画を作成したことがある方にお聞きします】 サービス等利用計画を作成して感じたことはありますか（○は4つまで）

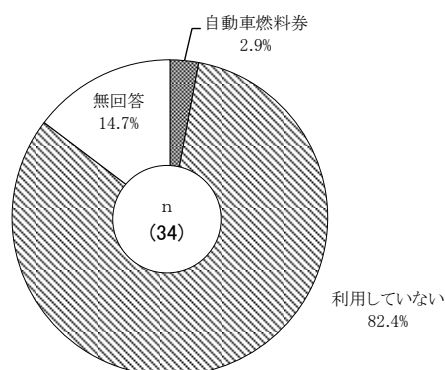
「ニーズを適切に反映したサービスの提案を受けることができた」、「サービス等利用計画に沿った形でサービス提供事業所等の支援を受けることができた」、「サービス等利用計画の内容が具体的で分かりやすかった」、「相談支援専門員が丁寧に分かりやすく説明してくれた」が、いずれも 36.4%となっています。一方、「制度そのものが分かりにくかった」は 22.7%となっています。



（９）福祉タクシー利用券・自動車燃料券の利用状況

問 74 あなたは、福祉タクシー利用券や自動車燃料券を利用していますか。利用している方は、その種類（券の色）もお答えください。（○は1つ）

「利用していない」が 82.4%で最も多くなっています。



(10) 福祉タクシー利用券・自動車燃料券の主な使い道

問 75 【問 74 でいずれかの券を利用している（1～3 番）と回答した方にお聞きします】

福祉タクシー利用券・自動車燃料券の主な使い道は何ですか。（○はいくつでも）

(11) 自動車燃料券を選んでいる理由

問 76 【問 74 で自動車燃料券を利用している（3 番）と回答した方にお聞きします。】

福祉タクシー利用券ではなく、自動車燃料券を選んでいる理由は何ですか。

（○は1 つ）

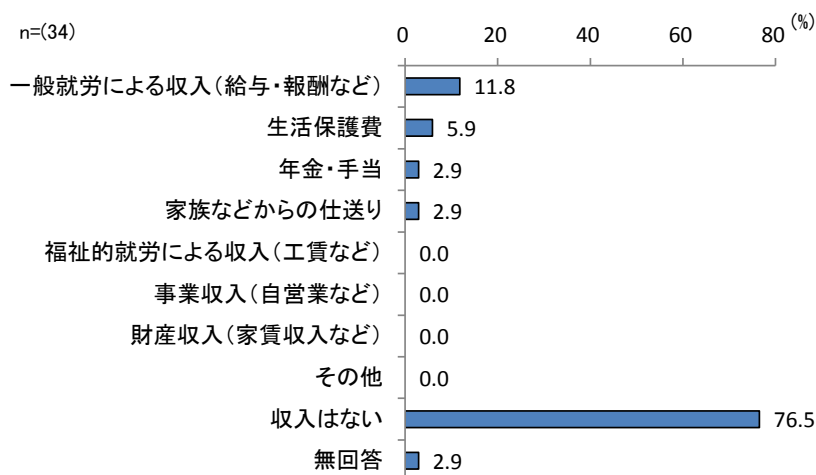
（10）福祉タクシー利用券・自動車燃料券の主な使い道、（11）自動車燃料券を選んでいる理由、に関する設問については、回答者が少なかったため、結果は省略させていただきます。

1 4. 収入や利用者負担について

(1) 主な収入源

問 77 あなたご本人の主な収入源をお答えください。(〇は3つまで)

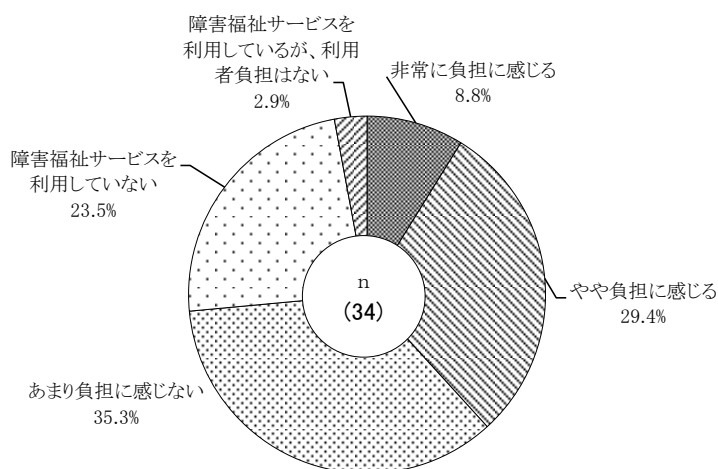
「収入はない」が76.5%で最も多くなっています。



(2) 障害福祉サービスの利用者負担の負担感

問 78 あなた(や保護者の方)は、障害福祉サービスの利用者負担について、どのように感じていますか。(〇は1つ)

「非常に負担に感じる」が8.8%、「やや負担に感じる」が29.4%となっています。一方、「あまり負担に感じない」が35.3% となっています。



15. 市の障害者施策について

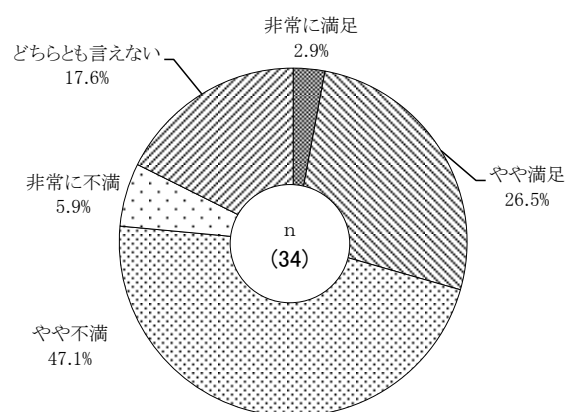
(1) 市の障害者施策についての満足度

問 79 あなた（や保護者・ご家族の方）は、市の障害者施策について、どのように感じていますか。（〇は1つ）

「非常に満足」が2.9%、「やや満足」が26.5%となっています。一方、「やや不満」は47.1%、「非常に不満」は5.9%となっています。

前回調査結果と比較すると、「やや満足」、「やや不満」が増加し、その一方、「非常に不満」は減少しています。

●全体



●経年比較

	調査数	非常に満足	やや満足	やや不満	非常に不満	どちらとも言えない	無回答
今回 (平成28年度)	34	1	9	16	2	6	0
	100.0	2.9	26.5	47.1	5.9	17.6	0.0
	(増減)	2.9	22.5	19.1	▲22.1	▲18.4	▲4.0
前回 (平成25年度)	25	0	1	7	7	9	1
	100.0	0.0	4.0	28.0	28.0	36.0	4.0

16. 自由意見

問 80 障害福祉に関するご意見やご要望、今後利用したい福祉サービスなどありましたら、ご自由にお書きください。（自由記述）

全部で 15 件の意見がありました。

	分 類	件数	%
1	福祉サービス	7	46.7
2	医療・健康	0	0.0
3	生活環境	0	0.0
4	雇用・就労	5	33.3
5	将来について	1	6.7
6	経済事情・経済的支援	0	0.0
7	行政・制度	2	13.3
8	その他	0	0.0
計		15	100

◆意見の概要 ※紙幅の都合により、内容を要約・抜粋している場合があります。

1. 福祉サービス

意見	最新の診断名	年齢	性別	回答者
放課後等デイサービスの質が事業所によって差がある。発達障害への世間の理解度がまだまだ低く、人間関係の構築が困難。学校の先生の理解も低い。もっと学習してほしい。	注意欠陥・多動性障害	6	男性	家族
放課後等デイサービスや児童発達支援事業所が増えていますが、実際に利用してみると利用者にバラつきがあったり、そこで働いているスタッフや、療育の質の質があまり良くない所が多いと思います。もっと専門的な知識や経験のある人材の育成に、行政が力を入れて欲しいと思います。利用したくても、利用出来ない当事者がたくさん居ます。	アスペルガー症候群 自閉症スペクトラム障害	5	男性	家族
全体的に内容・サービス共に情報が少なく、その情報すら、わかりにくい。もっと積極的に情報を開示して、本人や保護者に伝わるようにしてほしい。	広汎性発達障害 自閉症スペクトラム障害 知的障害	4	女性	家族

4. 雇用・就労

意見	最新の診断名	年齢	性別	回答者
知的には遅れのない発達障害の子どもへの支援を増やして欲しい。放課後等デイサービスをさがしているが、こまかな利用者設定がされていないため、子ども自身が違和感を感じてしまう。知的な遅れがなく、見た目にもわからないため、普通学級で支援を受けられなく、もどかしい。通常学級の指導員の人数を増やして欲しい。低学年からの不登校児へのケア、通所できる居場所が欲しい。感覚過敏の子どもへの配慮、LDの子どもへのタブレット導入等もっともっと柔軟に対応して欲しい。そのような子どもたちの理解と支援の勉強を教員に行って欲しい。療養センターは就学と同時に卒業となってしまう。成人するまで、幼児の頃から長期に渡ってつながれる場所が欲しい。	注意欠陥・多動性障害 自閉症スペクトラム障害	6	女性	家族
義務教育が心配でたまりません。授業を抜けずにすむよう放課後通級にしたい、教育現場の先生方に障害への理解を持っていただきたい、指導員を増員していただきたい。「みんなの学校」を市主催で上映し先生方に観ていただきたい、専門家のいる放課後等デイの枠を広げていただきたい、入学後も療育センターでの療育を継続していただきたい、などいろいろあります。毎日必死です。何卒よろしく願いいたします。	注意欠陥・多動性障害 自閉症スペクトラム障害	6	男性	家族
小学生になってからも、療育センター的な施設を増やしてほしい。	注意欠陥・多動性障害 自閉症スペクトラム障害 知的障害	6	女性	家族

5. 将来について

意見	最新の診断名	年齢	性別	回答者
目にみえない障害に関しても、福祉を充実させてほしい。地域理解が全く進んでいないこと、経済的負担が大きすぎる、介助者(親)は介助・支援が生活の中心であり、働く意志はあっても現実的に難しいこと、将来の見通しが全くたない不安を常に抱えていることを考えてほしい。せめて各窓口の対応だけでも、差別的態度をやめることから、地域理解の第一歩が始まると思う。	自閉症・自閉的傾向アスペルガー症候群 自閉症スペクトラム障害 広汎性発達障害 アスペルガー症候群	15	女性	本人

7. 行政・制度

意見	最新の診断名	年齢	性別	回答者
幼稚園を選ぶ際に、それぞれの幼稚園のこれまでの受け入れ体制や、受け入れ実績を教えてもらいたかったです。	注意欠陥・多動性障害 自閉症スペクトラム障害	6	男性	家族
知的レベルがグレーや軽度のため、療育手帳や手当がうけられない。グレーであるなら、なおさら社会にでるための支援(療育等)が必要になるので金せん面で不満を感じる。(交通費、駐車場代)また療育先への送迎が大変なことも多くある。仕事や兄妹がいるとなおさら。	注意欠陥・多動性障害 自閉症・自閉的傾向 自閉症スペクトラム障害 広汎性発達障害	6	男性	家族